

カリキュラムマップ

カリキュラムマップとは、授業科目と教育目標の関係を示した表のことで、ディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与の方針）に基づき、各科目が卒業するまでに身につける能力のどの項目と関連するのかが示しています。

このカリキュラムマップにより、学修内容の順次性や科目間の関連性が一目でわかり、自らの学修内容を容易に把握することができます。

教養教育科目 カリキュラムマップ

①教養部における「人材の養成・教育研究上の目的」（P.42参照）に則り、教養教育のカリキュラムは、大学教育の土台となる「基礎学力の育成」、ならびに多様な知識と価値観および深い洞察力を涵養する「リベラル・アーツの修得」を柱とする。②「基礎学力の育成」においては、情報収集力や言語表現力などの基礎学習力を培い、さらに課題発見力、論理的思考力、問題解決力、自己表現力を育成するために多彩な教育科目を展開する。③「リベラル・アーツの修得」においては、新たな価値の創造と知の多様性に対応できる人材の養成を目指して、人文科学・社会科学・自然科学の広範な領域、及び学際的なテーマを網羅した多種多様な科目を開講する。

教養教育科目 カリキュラムマップ

授業科目名 科目ナンバー	授業の概要	授業の到達目標	B-DP1	B-DP2		B-DP3						
			自己探求 心の育成	理解・協調性		基礎学力の育成						
				B-DP1-1	B-DP2-1	B-DP2-2	B-DP3-1	B-DP3-2	B-DP3-3	B-DP3-4	B-DP3-5	B-DP3-6
				高い倫理性 と豊かな人 間性の涵養	多様な文化 と価値観の 理解	他者との協 調性	情報収集力 を培う	言語表現力 を培う	課題発見力 を養う	論理的思考 力を養う	問題解決力 を養う	自己表現力 を養う
宗教学Ⅰ B111-113-01	「建学の精神」を学び、また、多様な宗教の見方・捉え方（分類法など）や、世界各地の宗教の概要・歴史を学習する。	宗教を客観的に学ぶことで高い倫理性を持った人間性を獲得し、また、世界各地の宗教を学ぶことで多様な文化・価値観を理解する。	◎	◎	◎	○		○	○	○		
宗教学Ⅱ B111-113-02	インドで生まれた仏教・禅の教え（世界観・価値観）の基本を学び、世界各地へ伝わった歴史を学ぶ。	仏教の智慧を学ぶことで、課題発見力や問題解決力を養い、また、慈悲を学ぶことで、他者との協調性を養い、価値観の多様化した現代においても力強く生きられる柔軟性を得る。	◎	◎	◎	○		○	○	○		
教養セミナー 「学問の発見」Ⅰ B132-841-01	教員の専門性を生かしながら、学生の学びへの姿勢を喚起させる。そのため、愛知学院大学教養部が編纂した教養セミナーハンドブック第Ⅰ部『大学で学ぶために』を共通テキストとして使用する。	リベラル・アーツへの目覚めを喚起し、高校までの受動的な学習形態から、大学での能動的な学習形態へ導き、大学で学ぶための心構えを意識させることを目標とする。	○	○	○	○	◎	◎	○	○	◎	
教養セミナー 「学問の発見」Ⅱ B132-841-02	教員の専門性を生かしながら、学生の学びへの姿勢を喚起させる。そのため、愛知学院大学教養部が編纂した教養セミナーハンドブック第Ⅰ部『大学で学ぶために』を共通テキストとして使用する。	リベラル・アーツへの目覚めを喚起し、高校までの受動的な学習形態から、大学での能動的な学習形態へ導き、大学で学ぶための心構えを意識させることを目標とする。	○	○	○	○	◎	◎	○	○	◎	
教養セミナー 「学問の発見」Ⅲ B232-841-03	「教養セミナーⅠ・Ⅱ」の発展系の授業として「学問の発見」をより深く考える科目であり、各担当教員の専門性を活かした形での授業として少人数のセミナー形式で授業が行われる。	各担当教員による幅広い分野の専門性を活かした科目として、学問に対する好奇心や探究心などをより一層高めることを目標とする。	○	○	○	○	◎	◎	○	○	◎	
教養セミナー 「学問の発見」Ⅳ B232-841-04	「教養セミナーⅠ・Ⅱ」の発展系の授業として「学問の発見」をより深く考える科目であり、各担当教員の専門性を活かした形での授業として少人数のセミナー形式で授業が行われる。	各担当教員による幅広い分野の専門性を活かした科目として、学問に対する好奇心や探究心などをより一層高めることを目標とする。	○	○	○	○	◎	◎	○	○	◎	
心理学Ⅰ B131-285-01	心理学は、心の営みを科学的に解明しようとする学問分野で、認知、生理、発達、教育、社会、臨床など様々な領域から成り立っている。各領域の代表的な知見に触れながら、基本的な心の仕組みと働きを学ぶ。	様々な実証的研究知見に基づき、心の仕組みや働きを理解し、自己の心の働きや行動について内省したり、自己や他者の心の働きに関心を向けたりすることにより、良好な人間関係を構築できるようになること。	○	○	○			◎	○	◎	○	
心理学Ⅱ B131-285-02	心理学は、心の営みを科学的に解明しようとする学問分野で、認知、生理、発達、教育、社会、臨床など様々な領域から成り立っている。各領域の代表的な知見に触れながら、基本的な心の仕組みと働きを学ぶ。	様々な実証的研究知見に基づき、心の仕組みや働きを理解し、自己の心の働きや行動について内省したり、自己や他者の心の働きに関心を向けたりすることにより、良好な人間関係を構築できるようになること。	○	○	○			◎	○	◎	○	

教養教育科目 カリキュラムマップ											
授業科目名 科目ナンバー	授業の概要	授業の到達目標	B-DP1	B-DP2		B-DP3					
			自己探求 心の育成	理解・協調性		基礎学力の育成					
			B-DP1-1	B-DP2-1	B-DP2-2	B-DP3-1	B-DP3-2	B-DP3-3	B-DP3-4	B-DP3-5	B-DP3-6
			高い倫理性 と豊かな人 間性の涵養	多様な文化 と価値観の 理解	他者との協 調性	情報収集力 を培う	言語表現力 を培う	課題発見力 を養う	論理的思考 力を養う	問題解決力 を養う	自己表現力 を養う
哲学Ⅰ B131-111-01	哲学史、倫理学、社会哲学、科学哲学、等々、哲学という広範な学問領域の中から分野を絞り込んで概説する。各々の分野を通して、哲学という学問一般に特徴的な思考様式や方法論の理解・習得を目指す。	言葉＝ロゴスによる説得という哲学的な思考様式の特徴を理解すると同時に、その思考様式を身の周りの具体的な問題に適用できる応用力を養う。	○	△	△		○	◎	◎	△	
哲学Ⅱ B131-111-02	哲学史、倫理学、社会哲学、科学哲学、等々、哲学という広範な学問領域の中から分野を絞り込んで概説する。各々の分野を通して、哲学という学問一般に特徴的な思考様式や方法論の理解・習得を目指す。	言葉＝ロゴスによる説得という哲学的な思考様式の特徴を理解すると同時に、その思考様式を身の周りの具体的な問題に適用できる応用力を養う。	○	△	△		○	◎	◎	△	
論理学Ⅰ B131-111-11	現代記号論理学を中心に、命題論理と述語論理の基礎を学ぶと同時に、それを一つの素地にして形成された言語哲学やクリティカル・シンキングといった、発展的・実践的分野についても一定の理解を得る。	命題論理と述語論理の基本となる考え方を学んで、人間の思考における論理の役割を理解すると同時に、問題演習等を通して論理的な推論実践の技術を磨く。					○		◎	△	
論理学Ⅱ B131-111-12	現代記号論理学を中心に、命題論理と述語論理の基礎を学ぶと同時に、それを一つの素地にして形成された言語哲学やクリティカル・シンキングといった、発展的・実践的分野についても一定の理解を得る。	命題論理と述語論理の基本となる考え方を学んで、人間の思考における論理の役割を理解すると同時に、問題演習等を通して論理的な推論実践の技術を磨く。					○		◎	△	
文学Ⅰ B131-135-01	日本語・日本文学について歴史的・文化的・社会的側面から解説し、様々な言語事象の背後にある原理や、古今の文学作品に描かれている諸問題について、受講生が新たな視点で理解できるよう指導する。	日本語・日本文学に関する基礎学力、日本文化をはじめとする多様なものごとを論理的に分析する力、多様な文化及び価値観について自発的に課題を立てて考える力、を修得することを目標とする。		◎		△	○	○	◎		
文学Ⅱ B131-135-02	日本語・日本文学について歴史的・文化的・社会的側面から解説し、様々な言語事象の背後にある原理や、古今の文学作品に描かれている諸問題について、受講生が新たな視点で理解できるよう指導する。	日本語・日本文学に関する基礎学力、日本文化をはじめとする多様なものごとを論理的に分析する力、多様な文化及び価値観について自発的に課題を立てて考える力、を修得することを目標とする。		◎		△	○	○	◎		
美術Ⅰ B131-116-01	美術の歴史、人物、環境等を通し現代社会の美術の見方、考え方を学び美術の基本姿勢を修得させていく。	美術の基本的な姿勢や見方を修得する。個々の美術観を築き表現法を見出ししていく。	◎	○	○	△	○	○	○	△	◎
美術Ⅱ B131-116-02	美術の基本理念に基づき多様に広がる美術事情を探り自己の美意識を広げ表現力を高めていく。	美術の理念を深め自己の造形に表現力を加え、美術の基礎の確立を計る。	◎	○	○	△	○	○	○	△	◎
法学Ⅰ B131-211-01	法学全般の基礎、及び憲法の基礎について講義する。	法学全般に通じる基本原理、及び憲法の基本原理を理解する。	○	△		○	○	○	◎	◎	
法学Ⅱ B131-211-02	民法の基礎について講義する。	民法の基本原理を理解する。	○	△		○	○	○	◎	◎	
政治学Ⅰ B131-222-01	民主主義・自由主義などの原理、執政制度・選挙制度などの政治制度を学ぶ。	政治の基本的原理や制度を理解する。	○	○		○	○	○	◎	◎	
政治学Ⅱ B131-222-02	日米英独仏など各国の政治を比較して学ぶ。国際政治の仕組みについて学ぶ。	各国政治および国際政治の基本を理解する。	○	○		○	○	○	◎	◎	

教養教育科目 カリキュラムマップ											
授業科目名 科目ナンバー	授業の概要	授業の到達目標	B-DP1	B-DP2		B-DP3					
			自己探求 心の育成	理解・協調性		基礎学力の育成					
			B-DP1-1	B-DP2-1	B-DP2-2	B-DP3-1	B-DP3-2	B-DP3-3	B-DP3-4	B-DP3-5	B-DP3-6
			高い倫理性 と豊かな人 間性の涵養	多様な文化 と価値観の 理解	他者との協 調性	情報収集力 を培う	言語表現力 を培う	課題発見力 を養う	論理的思考 力を養う	問題解決力 を養う	自己表現力 を養う
社会学Ⅰ B131-261-01	本講義は、具体例を挙げながら、社会学が考えてきたこと、明らかにしてきたことを確認し、社会学の概念や方法を理解していきます。また、それらの知識を用いて、現代社会の諸課題についても考えます。	社会学の「問い」、「概念」、「方法」を理解すること。そして、社会学的思考を用いて、自ら現代社会の諸課題の様相について説明できるようになること。	○	◎		△		○	◎	○	
社会学Ⅱ B131-261-02	本講義は、社会階層、文化集団、コミュニティ等を取り上げ、社会学的な視点からそれらの集団の特徴を理解していきます。そして各集団と現代社会の諸課題の関連についても考えていきます。	各集団の特徴を理解すること。そして、現代社会の諸課題が各集団のなかでなぜ発生し、どのように顕在化していくのかについて説明できるようになること。	○	◎		△		○	◎	○	
教育学Ⅰ B131-271-01	教育学は、人がよりよく生きるために欠かせない「教育」を対象とする学問である。その特徴は哲学、歴史学、社会学、行政学などの学問を基礎とした学際的な性格にあり、本授業では教育を様々な角度から考察する。	教育学の基礎的知識や概念を理解できるとともに、その基礎知識や概念を活用して現代の教育状況について多面的に考察でき、さらに自らが社会の形成者として教育についての意見を持つことができることを目指す。	○			○		◎	◎	○	○
教育学Ⅱ B131-271-02	教育学は、人がよりよく生きるために欠かせない「教育」を対象とする学問である。その特徴は哲学、歴史学、社会学、行政学などの学問を基礎とした学際的な性格にあり、本授業では教育を様々な角度から考察する。	教育学の基礎的知識や概念を理解できるとともに、その基礎知識や概念を活用して現代の教育状況について多面的に考察でき、さらに自らが社会の形成者として教育についての意見を持つことができることを目指す。	○			○		◎	◎	○	○
歴史学Ⅰ B131-161-01	文献資料や映像資料を駆使して、日本及び外国の歴史に関する講義を行っている。また受講生に対して、授業内では講義内容に関する感想を書かせたり、定期試験では主に論述問題を課したりしている。	歴史における文化の形成を広い視野に立って考察することによって、歴史的思考力を培い、日本や外国の成立の歴史的過程と特質を把握させて、近代市民としての自覚を深める。	○	◎	△	○	○	◎	○	○	○
歴史学Ⅱ B131-161-02	文献資料や映像資料を駆使して、日本及び外国の歴史に関する講義を行っている。また受講生に対して、授業内では講義内容に関する感想を書かせたり、定期試験では主に論述問題を課したりしている。	歴史における文化の形成を広い視野に立って考察することによって、歴史的思考力を培い、日本や外国の成立の歴史的過程と特質を把握させて、近代市民としての自覚を深める。	○	◎	△	○	○	◎	○	○	○
地理学Ⅰ B131-181-01	地理学の基礎的な知識を、国内外の社会の中にみられる具体的な実例を挙げながら紹介する。社会や自然を構成する多様な要素を取り上げ、それらの相互関係や、分布の差異を示すことで、地理学的なもののとらえ方を身に着ける。	社会の中にみられる諸現象を地理学的な観点から説明することができる。世界あるいは日本の中にみられる多様性と地域性について理解することができる。	△	◎	○	○		○	◎	○	
地理学Ⅱ B131-181-02	地理学が扱う多様な課題の中から特定のものを取り上げ、その問題を関連する事象とともに追究する。このことによって、取り上げる課題についての理解を深めるとともに、地理学的なもののとらえ方についても深化させる。	取り上げる地理学的課題についての基礎的な知識事項を述べることができる。取り上げる地理学的課題を通じて、世界・日本の社会・自然のあり方について、論理的な考察が行えるようになる。	△	◎	○	○		○	◎	○	
数学Ⅰ B131-323-01	数学の問題を解くことを通して、数学的な手法と論理的思考を学ぶ。	社会で生きていく上で必要な数学的手法と論理的思考の習得を到達目標とする。						○	◎	◎	△
数学Ⅱ B131-323-02	数学の問題を解くことを通して、より進んだ数学的な手法と論理的思考を学ぶ。	社会で生きていく上で必要な、より進んだ数学的手法と論理的思考の習得を到達目標とする。						○	◎	◎	△

教養教育科目　カリキュラムマップ											
授業科目名 科目ナンバー	授業の概要	授業の到達目標	B-DP1	B-DP2		B-DP3					
			自己探求 心の育成	理解・協調性		基礎学力の育成					
			B-DP1-1	B-DP2-1	B-DP2-2	B-DP3-1	B-DP3-2	B-DP3-3	B-DP3-4	B-DP3-5	B-DP3-6
			高い倫理性 と豊かな人 間性の涵養	多様な文化 と価値観の 理解	他者との協 調性	情報収集力 を培う	言語表現力 を培う	課題発見力 を養う	論理的思考 力を養う	問題解決力 を養う	自己表現力 を養う
統計学Ⅰ B131-603-01	統計の問題を解くことを通して、統計的な手法と統計的な論理的思考を学ぶ。	社会生活に役立つ統計の手法と統計的な論理的思考の習得を到達目標とする。				◎		○	○	◎	
統計学Ⅱ B131-603-02	統計の問題を解くことを通して、より進んだ統計的な手法と統計的な論理的思考を学ぶ。	社会生活に役立つ、より進んだ統計の手法と統計的な論理的思考の習得を到達目標とする。				◎		○	○	◎	
物理学Ⅰ B131-420-01	歴史を辿ったり、身近な現象を題材にしたりしながら、生活や社会に密接に関わっている『物理』を学ぶ。	なぜ？という疑問を持ち、それを解決するために論理的に考える力を身につける。						△	◎	○	
物理学Ⅱ B131-420-02	歴史を辿ったり、身近な現象を題材にしたりしながら、生活や社会に密接に関わっている『物理』を学ぶ。	なぜ？という疑問を持ち、それを解決するために論理的に考える力を身につける。						△	◎	○	
化学Ⅰ B131-420-11	化学の基礎を学びながら、日常生活に関わる身の回りの物質を化学的立場から捉え、化学が果たしている役割を考えます。「なぜこうなるの?」といった好奇心から出発して、化学の面白さを伝えます。	素朴な疑問をもとに、文系の学生にとっての化学に対する苦手意識を軽減します。化学的なモノの考え方を修得し、科学リテラシーや論理的思考力を身につけることを目標とします。						△	◎	○	
化学Ⅱ B131-420-12	化学の基礎を学びながら、日常生活に関わる身の回りの物質を化学的立場から捉え、化学が果たしている役割を考えます。「なぜこうなるの?」といった好奇心から出発して、化学の面白さを伝えます。	素朴な疑問をもとに、文系の学生にとっての化学に対する苦手意識を軽減します。化学的なモノの考え方を修得し、科学リテラシーや論理的思考力を身につけることを目標とします。						△	◎	○	
生物学Ⅰ B131-420-21	身近なできごとやさまざまな社会問題と生物学の関わりを知り、生物を理解するために必要な教養レベルでの基礎的知識と概念を学ぶ。	社会生活の中で直面する様々な医療問題や環境問題などを正しく理解し、また自分で考えるために必要な基礎的な生物学的知識を身につける。				△		○	◎	◎	
生物学Ⅱ B131-420-22	身近なできごとやさまざまな社会問題と生物学の関わりを知り、生物を理解するために必要な教養レベルでの基礎的知識と概念を学ぶ。	社会生活の中で直面する様々な医療問題や環境問題などを正しく理解し、また自分で考えるために必要な基礎的な生物学的知識を身につける。				△		○	◎	◎	
仏教と現代社会Ⅰ B231-112-01	現代社会の諸問題に関する仏教からの提言	仏教的価値観を対立軸として、現代社会の価値観や諸課題を考える力を育てる	○	◎	◎	○		○	○	○	
仏教と現代社会Ⅱ B231-112-02	現代社会の諸問題に関する仏教からの提言	仏教的価値観を対立軸として、現代社会の価値観や諸課題を考える力を育てる	○	◎	◎	○		○	○	○	
禅と人間Ⅰ B231-112-11	禅の概要および禅宗の特徴を概説し、禅語（公案）を通じて禅の思想を解説するとともに、坐禅の実習によって禅の修行を体感する	坐禅や公案の学習などの禅の修行生活の重要な要素を通じて、禅の本質を理解する	◎	○			△		○		
禅と人間Ⅱ B231-112-12	中国および日本における禅宗の歴史や思想を概説し、禅の影響のもと成立した茶道・絵画・建築・陶磁器・書などの日本独自文化を解説する。	禅と日本文化との関係を具体的に理解し、禅によって培われた日本独自の美意識や感性を体得する	○	◎						△	
生命に関する諸問題Ⅰ B231-118-01	「生と死」という解決し難い古来からのテーマについて、自然・人文・社会科学などの多様な視点・観点からアプローチする。	総合的に問題を捉えて解決したり、創造性を持って新たな課題を見い出したりする力をつける。自分なりの「生命観」・「人生観」・「死生観」を築く。	◎	○		○		◎	○	○	

教養教育科目 カリキュラムマップ											
授業科目名 科目ナンバー	授業の概要	授業の到達目標	B-DP1	B-DP2		B-DP3					
			自己探求 心の育成	理解・協調性		基礎学力の育成					
			B-DP1-1	B-DP2-1	B-DP2-2	B-DP3-1	B-DP3-2	B-DP3-3	B-DP3-4	B-DP3-5	B-DP3-6
			高い倫理性 と豊かな人 間性の涵養	多様な文化 と価値観の 理解	他者との協 調性	情報収集力 を培う	言語表現力 を培う	課題発見力 を養う	論理的思考 力を養う	問題解決力 を養う	自己表現力 を養う
生命に関する諸問題Ⅱ B231-118-02	「生と死」という解決し難い古来からのテーマについて、自然・人文・社会科学などの多様な視点・観点からアプローチする。	総合的に問題を捉えて解決したり、創造性を持って新たな課題を見い出したりする力をつける。自分なりの「生命観」・「人生観」・「死生観」を築く。	◎	○		○		◎	○	○	
人間行動の理解Ⅰ B231-285-01	心理学で扱う理論や事象は実験や調査で得られたデータに基づいている。本講義では、実際に実験を行い、仮説検証の考え方からデータの収集方法、結果の解釈に至るまで、心理学の基本的な方法論について理解を深める。	心の仕組みや働きを明らかにするための様々な方法論を理解したうえで、科学的な手続きと正確なデータ収集の重要性を認識し、さらにそれらをまとめて論理的な報告書の作成ができるようになること。	○	○	○	◎		◎	○	○	
人間行動の理解Ⅱ B231-285-02	フロイトの精神分析の口語版といわれる「交流分析」の理論と実践について学ぶ。交流分析は、パーソナリティ理論やコミュニケーション理論を含む心理療法のひとつであり、自己洞察を繰り返すことで、より良い人間関係と自己の生き方を築くことを目指す。	自己理解と他者理解を深め、よりよいコミュニケーションと自己の問題点の把握と改善へつなげること。	○	○	◎			○	○	◎	○
人間の尊厳と平等Ⅰ B231-261-01	本授業では、これまでに人間社会が形成してきた人権について、様々な歴史的事例や条文などの学びを通して、人権の基礎を習得する。	人権の成立過程や現代における課題を学び、一人一人の人間性を尊重し、他者と協調できるようになる。また、差別について批判的精神を養う。	◎	○	◎	○		○	○	○	
人間の尊厳と平等Ⅱ B231-261-02	本授業では、社会福祉の成立過程を学びながら、「福祉国家」や「社会福祉事業」への理解を深め、社会福祉の基礎を習得する。	社会福祉の学びを通して、一人一人の人間性を尊重し、多様な価値観を理解できるようになる。そして、自ら社会貢献が積極的に可能になることを目指す。	○	◎	◎	○		○	○	○	○
日本の文化と社会Ⅰ B231-162-01	日本の歴史・文学・ことばを中心に、人々がそれらの事象とどのように関わってきたのか、どのような変化をとげてきたのか、を学ぶ。	科学的な探究の精神に基づいて、日本における、社会と文化と人間に対する理解を深め、複眼の視座を涵養する。		◎		△	○	○	◎		
日本の文化と社会Ⅱ B231-162-02	日本の歴史・文学・ことばを中心に、人々がそれらの事象とどのように関わってきたのか、どのような変化をとげてきたのか、を学ぶ。	科学的な探究の精神に基づいて、日本における、社会と文化と人間に対する理解を深め、複眼の視座を涵養する。		◎		△	○	○	◎		
アジアの文化と社会Ⅰ B231-163-01	文献資料や映像資料を駆使して、中国の芸能・小説などの伝統文化、及び近現代の政治・社会史に関する講義を行う。また定期試験などを通して受講生に論述の機会を設けている。	日本人にとって「他者」である中国を多面的に理解することを目指す。その上で、筋道を立てた論述能力や課題発見力、問題解決力を涵養することを目指す。	○	◎	△	○	○	◎	○	○	○
アジアの文化と社会Ⅱ B231-163-02	文献資料や映像資料を駆使して、中国の芸能・小説などの伝統文化、及び近現代の政治・社会史に関する講義を行う。また定期試験などを通して受講生に論述の機会を設けている。	日本人にとって「他者」である中国を多面的に理解することを目指す。その上で、筋道を立てた論述能力や課題発見力、問題解決力を涵養することを目指す。	○	◎	△	○	○	◎	○	○	○
ヨーロッパの文化と社会Ⅰ B231-165-01	ヨーロッパの思想・文化の理解	ヨーロッパ諸国の事例を学習することで、未来の日本社会構築の参考にする。	○	◎		○		◎	○	○	
ヨーロッパの文化と社会Ⅱ B231-165-02	ヨーロッパの思想・文化の理解	ヨーロッパ諸国の事例を学習することで、未来の日本社会構築の参考にする。	○	◎		○		◎	○	○	

教養教育科目 カリキュラムマップ										
授業科目名 科目ナンバー	授業の概要	授業の到達目標	B-DP1	B-DP2		B-DP3				
			自己探求 心の育成	理解・協調性		基礎学力の育成				
			B-DP1-1	B-DP2-1	B-DP2-2	B-DP3-1	B-DP3-2	B-DP3-3	B-DP3-4	B-DP3-5
			高い倫理性 と豊かな人 間性の涵養	多様な文化 と価値観の 理解	他者との協 調性	情報収集力 を培う	言語表現力 を培う	課題発見力 を養う	論理的思考 力を養う	問題解決力 を養う
英語圏の文化と社会Ⅰ B231-804-01	英語圏の文化的な側面と社会的な側面について講義	英語圏の文化や英語の使用における社会的な背景について理解できる		◎			◎			
英語圏の文化と社会Ⅱ B231-804-02	英語圏の文化的な側面と社会的な側面について講義	英語圏の文化や英語の使用における社会的な背景について理解して説明できる		◎			◎			
人間と環境Ⅰ B231-646-01	社会・地球・自然・食など様々な角度から人間と環境の関わりについて学んでゆきます。	人間をとりまく種々の環境についての正しい知識を学び、玉石混淆の情報から正しい情報を読み解く力を身につけることができる。		○		○		◎	○	◎
人間と環境Ⅱ B231-646-02	社会・地球・自然・食など様々な角度から人間と環境の関わりについて学んでゆきます。	人間をとりまく種々の環境についての正しい知識を学び、玉石混淆の情報から正しい情報を読み解く力を身につけることができる。		○		○		◎	○	◎
情報と社会Ⅰ B231-622-01	ネットワーク社会における情報の扱い方と倫理的問題点を習得する。	ネットワーク社会における情報の扱い方と倫理的問題点の習得を到達目標とする。		○		◎		○	○	◎
情報と社会Ⅱ B231-622-02	ネットワーク社会におけるより進んだ情報の扱い方と倫理的問題点を習得する。	ネットワーク社会におけるより進んだ情報の扱い方と倫理的問題点の習得を到達目標とする。		○		◎		○	○	◎
産業と科学Ⅰ B231-118-01	生活に関連した産業と科学技術に関する話題を、複数の視点から多角的に分析し、解説する。	産業と科学技術に関する知識を学び、それを生かして生活における諸問題に対処できるような柔軟な思考力を身につける。				○		○	◎	◎
産業と科学Ⅱ B231-118-02	生活に関連した産業と科学技術に関する話題を、複数の視点から多角的に分析し、解説する。	産業と科学技術に関する知識を学び、それを生かして生活における諸問題に対処できるような柔軟な思考力を身につける。				○		○	◎	◎
ソフトウェア概論Ⅰ B231-605-01	コンピュータ・プログラミングの課題を解くことを通して、コンピュータの多様な使い方を習得する。	コンピュータ・プログラミングとコンピュータの多様な使い方の習得を到達目標とする。						○	◎	◎
ソフトウェア概論Ⅱ B231-605-02	コンピュータ・プログラミングの課題を解くことを通して、より進んだコンピュータの多様な使い方を習得する。	より進んだコンピュータ・プログラミングとコンピュータの多様な使い方の習得を到達目標とする。						○	◎	◎
健康の科学 B231-594-01	健康や病気を理解するための基礎知識、とくに生活習慣との関わりや疾病予防の重要性について解説する。	健康的な生活を送るための基礎知識を身につけ、日常生活の中で実践できるようになることを目的とする。			△	△		○	○	◎
英語Ⅰa B114-141-01	英語のリスニングと英会話を中心とした授業	基礎的な英語表現の聞き取りと基礎的な会話表現ができる		○	○		◎			○
英語Ⅱa B114-141-02	英語のリスニングと英会話を中心とした授業	少し発展的な英語表現の聞き取りと会話表現ができる		○	○		◎			○
英語Ⅰb B114-141-03	英語の読解を中心とした総合演習	基礎的な英文を読んで内容が理解できる		○		○	◎		○	
英語Ⅱb B114-141-04	英語の読解を中心とした総合演習	少し発展的な英文を読んで内容が理解できる		○		○	◎		○	

教養教育科目 カリキュラムマップ											
授業科目名 科目ナンバー	授業の概要	授業の到達目標	B-DP1	B-DP2		B-DP3					
			自己探求 心の育成	理解・協調性		基礎学力の育成					
			B-DP1-1	B-DP2-1	B-DP2-2	B-DP3-1	B-DP3-2	B-DP3-3	B-DP3-4	B-DP3-5	B-DP3-6
			高い倫理性 と豊かな人 間性の涵養	多様な文化 と価値観の 理解	他者との協 調性	情報収集力 を培う	言語表現力 を培う	課題発見力 を養う	論理的思考 力を養う	問題解決力 を養う	自己表現力 を養う
英語Ⅰc B114-141-05	英作文・英文法を中心とした総合英語	基礎的な英文を書いて自己表現ができる		○			◎		○		○
英語Ⅱc B114-141-06	英作文・英文法を中心とした総合英語	少し発展的な英文を書いて自己表現ができる		○			◎		○		○
ドイツ語Ⅰ B114-145-01	ドイツ語の基礎力養成	基本的なドイツ語構造の理解		◎			◎		○		○
ドイツ語Ⅱ B114-145-02	ドイツ語の基礎力養成	基本的なドイツ語構造の理解		◎			◎		○		○
中国語Ⅰ B114-147-01	発音の習得から始めて、入門時に必要とされる常用単語及び初歩的な文型を学び、未習外国語である中国語の学習の基礎を固める。常に双方向の授業を心がけ、中国語運用能力の基礎を作る。	中国語の発音を習得し、中国語のローマ字表記を読めるようにする。併せて、初歩的な常用単語及び初歩的な文型を習得し、簡単な中国語を使えるようにする。		◎			◎		○		○
中国語Ⅱ B114-147-02	中国語Ⅰで学んだ中国語の基礎の上にさらにステップアップを目指す。発音の習熟度をより高め、語彙及び理解でき、かつ使用できる文型を増やすことによって、中国語の運用能力を高める。	中国語の発音をより確実なものにし、より多くの常用語彙、重要文型を学び、中国語の構造に対する理解を深め、初歩的な中国語運用能力を身につけるようにする。		◎			◎		○		○
フランス語Ⅰ B114-146-01	綴りと音の関係を理解し、フランス語文の音読を可能にする。基本文型を暗記し、フランス語のリズムを覚える。	フランス語文を単独で音読できるようにし、挨拶や買い物などの簡単な日常会話に慣れる。		◎		○	◎		○		○
フランス語Ⅱ B114-146-02	人称の概念を理解し、基本動詞の活用を学習する。辞書を利用して平易なフランス語文を訳読し、暗記する。	会話文や説明文を、辞書を用いて単独で読解する。人物の会話から、フランス人の基本となる物の考え方を理解する。		◎		○	◎		○		○
韓国語Ⅰ B114-148-01	初めて学ぶ人を対象に韓国語に関する基礎知識と運用力を養成する科目である。韓国語の文字と発音を始めとし、日常生活で使える簡単な会話を学習することとする。	「読む、書く、聞く、話す」の4機能を総合的に学習し、それを通じて朝鮮半島の歴史、社会、文化、思想について理解を深め、韓国語の基本的な構造について理解することを目標とする。		◎		○	◎		○		○
韓国語Ⅱ B114-148-02	初めて学ぶ人を対象に韓国語に関する基礎知識と運用力を養成する科目である。韓国語の文字と発音を始めとし、日常生活で使える簡単な会話を学習することとする。	「読む、書く、聞く、話す」の4機能を総合的に学習し、それを通じて朝鮮半島の歴史、社会、文化、思想について理解を深め、韓国語の基本的な構造について理解することを目標とする。		◎		○	◎		○		○
ドイツ文化事情 B124-145-61	ドイツ語圏の国々の思想・文化・社会の探究	「ドイツ」から今後の日本社会に優位な考え方を学び取る		◎		○		○			
中国文化事情 B124-147-61	映像等を用い、中国の歴史、地理、社会等各方面から、中国語の背後にある中国文化の様々な側面を学び、多様な文化に対する理解を深める。	中国の社会や伝統文化に対する知識を増やし、より広い視野を持って、多様な文化、価値観が理解できるようになることを目指す。		◎		○		○			

教養教育科目 カリキュラムマップ											
授業科目名 科目ナンバー	授業の概要	授業の到達目標	B-DP1	B-DP2		B-DP3					
			自己探求 心の育成	理解・協調性		基礎学力の育成					
			B-DP1-1	B-DP2-1	B-DP2-2	B-DP3-1	B-DP3-2	B-DP3-3	B-DP3-4	B-DP3-5	B-DP3-6
			高い倫理性 と豊かな人 間性の涵養	多様な文化 と価値観の 理解	他者との協 調性	情報収集力 を培う	言語表現力 を培う	課題発見力 を養う	論理的思考 力を養う	問題解決力 を養う	自己表現力 を養う
フランス文化事情 B124-146-61	フランス人の物の考え方や、習慣、歴史、社会制度などを習得する。異文化理解が単一民族の日本人には重要であることを認識する。	個人の自由を重んじるフランス人の国民性を理解し、それが日常生活や社会制度の中で、どのように機能しているかを考察を深める。		◎		○		◎	○	○	
韓国文化事情 B124-148-61	様々な文献・視聴覚資料を活用し、韓国・朝鮮の文化・社会・歴史などについて学ぶ。単なる知識の伝達ではなく、日本との比較などや、様々な観点からの観察・分析、「韓国文化」の全般について正しく理解していく。	日常の様々な事柄について客観的な立場から観察・分析力を身につけることができる。また、日韓の文化比較を行い様々な意見や情報交換によって、自分の意見を表明する積極性と論理性を高めることができる。		◎	○	○	○		◎		○
日本語Ⅰa B114-139-01	高度な文法力や読解力を身につけることを目的に論理的な文章を読む。	論理的な文章が読めるようになる。また、教材を通して日本社会への理解を深めることができる。					◎		◎		○
日本語Ⅱa B114-139-02	読解力を向上させるために、論理的な文章だけでなく、エッセイなども取り上げて読む。	様々なタイプの文章を、一人で読めるようになる。また、内容に関して意見や感想をまとめることができる。					◎		◎		○
日本語Ⅰb B114-139-03	日本語の聴解、会話、口頭発表を扱う。	留学生活に必要な聴解力・会話力を身につけ、わかりやすい発表ができるようになる。				○	◎		○		◎
日本語Ⅱb B114-139-04	日本語の聴解、会話、口頭発表を扱う。	日本社会で起きている話題について聴き取れ、資料を基に論理的に意見が述べられるようになる。				○	◎		○		◎
日本語Ⅰc B114-139-05	論理的な文章をわかりやすく書くための基礎的な技法を学ぶ。	事実と自分の考えとを書き分ける力、資料に基づいて自分の考えを書き進める力などを身につけることができる。					◎		○	○	◎
日本語Ⅱc B114-139-06	関心のあるテーマについて問題を見出し、資料を用いてその答えをレポートとしてまとめる。	レポートを書くことを通して、読み・書きの高度な日本語力を身につけることができる。				○	◎	○	◎	○	○
日本語Ⅰd B214-139-07	意見文を読み、自分の意見を述べたり、内容を要約したりする。	社会で問題になっている様々な問題について、自分の考えをわかりやすく述べることができる。		○			◎		○		◎
日本語Ⅱd B214-139-08	ディベートやスピーチ学習などを通して、まとまりのある内容を的確に伝える方法を学ぶ。	自分の考えをわかりやすく伝えることができる。		○	○	○	◎	○	○	○	◎
日本語Ⅰe B214-139-09	「食」をメインテーマに課題を設定し、資料を集め、まとめて発表する。	高度な日本語力およびプレゼンテーション能力を身につけることができる。		○		○	◎	◎	○	○	○
日本語Ⅱe B214-139-10	日本の文化や社会に関するテーマについて、課題を設定し、調べて発表する。	高度な日本語力およびプレゼンテーション能力を身につけることができる。		○		○	◎	◎	○	○	○
英会話Ⅰ B134-141-11	外国人教員による英会話演習	簡単な英会話で自己表現ができる		○	○		◎				○
英会話Ⅱ B134-141-12	外国人教員による英会話演習	少し発展的な内容の英会話で自己表現ができる		○	○		◎				○
英会話Ⅲ B234-141-21	外国人教員による発展的英会話演習	日常的な内容の英会話で自己表現ができる		○	○		◎		○		○

教養教育科目 カリキュラムマップ											
授業科目名 科目ナンバー	授業の概要	授業の到達目標	B-DP1	B-DP2		B-DP3					
			自己探求 心の育成	理解・協調性		基礎学力の育成					
			B-DP1-1	B-DP2-1	B-DP2-2	B-DP3-1	B-DP3-2	B-DP3-3	B-DP3-4	B-DP3-5	B-DP3-6
			高い倫理性 と豊かな人 間性の涵養	多様な文化 と価値観の 理解	他者との協 調性	情報収集力 を培う	言語表現力 を培う	課題発見力 を養う	論理的思考 力を養う	問題解決力 を養う	自己表現力 を養う
英会話Ⅳ B234-141-22	外国人教員による発展的英会話演習	発展的な様々な内容の英会話で自己表現ができる		○	○		◎		○		○
メディア英語Ⅰ B134-141-17	ビデオや映画等のメディアを使った英語演習	映画やニュースなどで基本的な表現が理解できる		○			◎		○		
メディア英語Ⅱ B134-141-18	ビデオや映画等のメディアを使った英語演習	映画やニュースなどで少し発展的な表現が理解できる		○			◎		○		
メディア英語Ⅲ B234-141-27	ビデオや映画等のメディアを使った発展的英語演習	映画やニュースなどで多くの表現をそのまま理解できる		○			◎		○		
メディア英語Ⅳ B234-141-28	ビデオや映画等のメディアを使った発展的英語演習	映画やニュースなどで発展的な内容がそのまま理解できる		○			◎		○		
英語表現法Ⅰ B134-141-15	英作文や会話などの英語による自己表現演習	基礎的な英語を使って自己表現ができる		○			◎		○		○
英語表現法Ⅱ B134-141-16	英作文や会話などの英語による自己表現演習	少し発展的な英語を使って自己表現ができる		○			◎		○		○
英語表現法Ⅲ B234-141-25	英作文や会話などの英語による発展的自己表現演習	英語表現を使って自分の意見や考えを表現できる		○			◎		○		○
英語表現法Ⅳ B234-141-26	英作文や会話などの英語による発展的自己表現演習	少し発展的な英語表現を使って自分の意見や考えを表現できる		○			◎		○		○
英語読解法Ⅰ B134-141-13	様々な英文を読んで理解する読解演習	辞書を使って、自分で様々な英文の内容が理解できる		○		○	◎		○		
英語読解法Ⅱ B134-141-14	様々な英文を読んで理解する読解演習	辞書を使って、自分で少し発展的な英文の内容が理解できる		○		○	◎		○		
英語読解法Ⅲ B234-141-23	発展的な英文を読んで理解する読解演習	辞書を使って、様々な英文の内容が理解できる		○		○	◎		○		
英語読解法Ⅳ B234-141-24	発展的な英文を読んで理解する読解演習	辞書を使って、様々な発展的な英文の内容が理解できる		○		○	◎		○		
実践英語Ⅰ B134-141-31	TOEIC等の検定試験対策の演習	TOEIC等の検定試験で基礎的な問題の解答ができる					◎		○		
実践英語Ⅱ B134-141-32	TOEIC等の検定試験対策の演習	TOEIC等の検定試験で少し発展的な問題の解答ができる					◎		○		
実践英語Ⅲ B234-141-41	TOEIC等の検定試験対策の発展的演習	TOEIC等の検定試験で発展的な問題の解答ができる					◎		○		
実践英語Ⅳ B234-141-42	TOEIC等の検定試験対策の発展的演習	TOEIC等の検定試験で少し高度な問題の解答ができる					◎		○		

教養教育科目 カリキュラムマップ											
授業科目名 科目ナンバー	授業の概要	授業の到達目標	B-DP1	B-DP2		B-DP3					
			自己探求 心の育成	理解・協調性		基礎学力の育成					
			B-DP1-1	B-DP2-1	B-DP2-2	B-DP3-1	B-DP3-2	B-DP3-3	B-DP3-4	B-DP3-5	B-DP3-6
			高い倫理性 と豊かな人 間性の涵養	多様な文化 と価値観の 理解	他者との協 調性	情報収集力 を培う	言語表現力 を培う	課題発見力 を養う	論理的思考 力を養う	問題解決力 を養う	自己表現力 を養う
ドイツ語Ⅰ（基礎） B134-145-11	ドイツ語の基礎力養成	基本的なドイツ語構造の理解		◎			◎		○		○
ドイツ語Ⅱ（基礎） B134-145-12	ドイツ語の基礎力養成	基本的なドイツ語構造の理解		◎			◎		○		○
ドイツ語Ⅲ（読解） B234-145-21	中級ドイツ語能力養成	ドイツ語の読解力強化		◎			◎		○		○
ドイツ語Ⅳ（読解） B234-145-22	中級ドイツ語能力養成	ドイツ語の読解力強化		◎			◎		○		○
ドイツ語Ⅲ（表現） B234-145-31	中級ドイツ語能力養成	ドイツ語の表現力（作文力）強化		◎			◎		○		○
ドイツ語Ⅳ（表現） B234-145-32	中級ドイツ語能力養成	ドイツ語の表現力（作文力）強化		◎			◎		○		○
ドイツ語Ⅲ（総合） B234-145-41	中級ドイツ語能力養成	中級のテキストを用いたドイツ語の運用能力強化		◎			◎		○		○
ドイツ語Ⅳ（総合） B234-145-42	中級ドイツ語能力養成	中級のテキストを用いたドイツ語の運用能力強化		◎			◎		○		○
ドイツ語会話Ⅰ B234-145-51	中級ドイツ語能力養成	ドイツ語の会話能力の養成		◎	○		◎		○		○
ドイツ語会話Ⅱ B234-145-52	中級ドイツ語能力養成	ドイツ語の会話能力の養成		◎	○		◎		○		○
中国語Ⅰ（基礎） B134-147-11	発音の習得から始めて、入門時に必要とされる常用単語及び初歩的な文型を学び、未習外国語である中国語の学習の基礎を固める。常に双方向の授業を心がけ、中国語運用能力の基礎を作る。	中国語の発音を習得し、中国語のローマ字表記を読めるようにする。併せて、初歩的な常用単語及び初歩的な文型を習得し、簡単な中国語を使えるようにする。		◎			◎		○		○
中国語Ⅱ（基礎） B134-147-12	中国語Ⅰで学んだ中国語の基礎の上にさらにステップアップを目指す。発音の習熟度をより高め、語彙及び理解でき、かつ使用できる文型を増やすことによって、中国語の運用能力を高める。	中国語の発音をより確実なものにし、より多くの常用語彙、重要文型を学び、中国語の構造に対する理解を深め、初歩的な中国語運用能力を身につけるようにする。		◎			◎		○		○
中国語Ⅲ（読解） B234-147-21	1年次に習得した中国語を基礎に、簡単な文章を読むことによって中国語の文法構造等に対する理解を深め、中国語の読解力をレベルアップして資格取得などに役立てる。	300語程度の常用単語を身につけ、中国語の文法構造に対する理解を深め、中国語の文章の読解力を高める。併せて、中国政府公認の中国語検定試験HSK2級の合格を目指す。		◎			◎		○		○

教養教育科目 カリキュラムマップ												
授業科目名 科目ナンバー	授業の概要	授業の到達目標	B-DP1	B-DP2		B-DP3						
			自己探求 心の育成	理解・協調性		基礎学力の育成						
			B-DP1-1	B-DP2-1	B-DP2-2	B-DP3-1	B-DP3-2	B-DP3-3	B-DP3-4	B-DP3-5	B-DP3-6	
			高い倫理性 と豊かな人 間性の涵養	多様な文化 と価値観の 理解	他者との協 調性	情報収集力 を培う	言語表現力 を培う	課題発見力 を養う	論理的思考 力を養う	問題解決力 を養う	自己表現力 を養う	
中国語Ⅳ（読解） B234-147-22	中国語Ⅲ（読解）を受けて、様々な文章を読むことによって、中国語の文法構造等に対する理解をさらに深め、中国語の読解力をさらにレベルアップして資格取得などに役立てる。	600語程度の常用単語を身につけ、中国語の文法構造に対する理解を深め、中国語の文章の読解力を高める。併せて、中国政府公認の中国語検定試験HSK 3級の合格を目指す。		◎			◎		○		○	
中国語Ⅲ（表現） B234-147-31	1年次に習得した中国語を基礎に、中国語の様々な表現を学んで中国語作文の練習をすることによって、中国語の文法構造等に対する理解を深め、中国語の表現力をレベルアップして資格取得などに役立てる。	300語程度の常用単語を身につけ、中国語の文法構造に対する理解を深め、中国語の表現力を高める。併せて、中国政府公認の中国語検定試験HSK 2級の合格を目指す。		◎			◎		○		○	
中国語Ⅳ（表現） B234-147-32	中国語Ⅲ（読解）を受けて、中国語の様々な表現を学んで中国語作文の練習をすることによって、中国語の文法構造等に対する理解をさらに深め、中国語の表現力をさらにレベルアップして資格取得などに役立てる。	600語程度の常用単語を身につけ、中国語の文法構造に対する理解を深め、中国語の表現力を高める。併せて、中国政府公認の中国語検定試験HSK 3級の合格を目指す。		◎			◎		○		○	
中国語Ⅲ（総合） B234-147-41	1年次に習得した中国語を基礎に、「読み、書き、聴き、話す」練習を通して、常用語を身につけ、中国語の文法構造等に対する理解を深め、中国語の運用能力をレベルアップして資格取得などに役立てる。	300語程度の常用単語を身につけ、中国語の文法構造に対する理解を深め、「読み、書き、聴き、話す」といった中国語の運用能力を全体的に高める。併せて、中国政府公認の中国語検定試験HSK 2級の合格を目指す。		◎			◎		○		○	
中国語Ⅳ（総合） B234-147-42	中国語Ⅲ（総合）を受けて、「読み、書き、聴き、話す」練習を通して、使える常用語を増やし、中国語の文法構造等に対する理解をさらに深め、中国語の運用能力をさらにレベルアップして資格取得などに役立てる。	600語程度の常用単語を身につけ、中国語の文法構造に対する理解を深め、「読み、書き、聴き、話す」といった中国語の運用能力を全体的に高める。併せて、中国政府公認の中国語検定試験HSK 3級の合格を目指す。		◎			◎		○		○	
中国語会話Ⅰ B234-147-51	発音の練習を重視し、ペアワークによる会話練習を行い、中国語の会話力を向上させる。併せて、作文と翻訳の練習も行い、中国語の総合的な運用能力を高める。	1年次で学んだ中国語の発音をより正確なものにし、あいさつなどの簡単な言葉から日常用いる初歩的な会話ができるようにする。中国政府公認の中国語検定試験HSK 2級の合格を目指す。		◎			◎		○		○	
中国語会話Ⅱ B234-147-52	中国語会話Ⅰを受け、引き続き発音練習を重視し、ペアワークによる会話をほぼ毎回行って、会話力をより向上させる。併せて作文と翻訳の練習にも力を入れ、中国語の総合的な運用能力を高める。	中国語をより正確に発音できるようにし、より多くのことを表現できるよう会話力を高める。会話力と同時に、作文能力や読解力も向上させ、中国政府公認の中国語検定試験HSK 3級の合格を目指す。		◎			◎		○		○	
フランス語Ⅰ（基礎） B134-146-11	綴りと音の関係を理解し、フランス語文の音読を可能にする。基本文型を暗記し、フランス語のリズムを覚える。	フランス語文を単独で音読できるようにし、挨拶や買い物などの簡単な日常会話に慣れる。		◎			○	◎		○		○
フランス語Ⅱ（基礎） B134-146-12	人称の概念を理解し、基本動詞の活用を学習する。辞書を利用して平易なフランス語文を訳読し、暗記する。	会話文や説明文を、辞書を用いて単独で読解する。人物の会話から、フランス人の基本となる物の考え方を理解する。		◎			○	◎		○		○
フランス語Ⅲ（読解） B234-146-21	フランス語の会話文や比較的阅读しやすい文学作品の文章を訳読し、その中の基本的な表現を暗記する。	テキストの各章のテーマにそって、登場人物による会話の機微を捉える。フランス語独特の言い回しに注意を払う。		◎			○	◎		○		○

教養教育科目 カリキュラムマップ											
授業科目名 科目ナンバー	授業の概要	授業の到達目標	B-DP1	B-DP2		B-DP3					
			自己探求 心の育成	理解・協調性		基礎学力の育成					
			B-DP1-1	B-DP2-1	B-DP2-2	B-DP3-1	B-DP3-2	B-DP3-3	B-DP3-4	B-DP3-5	B-DP3-6
			高い倫理性 と豊かな人 間性の涵養	多様な文化 と価値観の 理解	他者との協 調性	情報収集力 を培う	言語表現力 を培う	課題発見力 を養う	論理的思考 力を養う	問題解決力 を養う	自己表現力 を養う
フランス語Ⅳ（読解） B234-146-22	会話文の中で描かれる日常生活のユーモアを読み解く。人生の指針となるような文章は、暗記して覚える。	会話文の登場人物になったつもりで、情感をこめて文章を音読する。共感を覚えた表現は、反復して忘れないようにする。		◎		○	◎		○		○
フランス語Ⅲ（表現） B234-146-31	フランス語の会話文を読みながら、その口語表現が持っている微妙なニュアンスを読み取る。使用頻度の高い文は暗記する。	フランス語の会話文の中にちりばめられている、エスプリの効いた表現を覚え、自分の人生に当てはめてみる。		◎		○	◎		○		○
フランス語Ⅳ（表現） B234-146-32	フランス語の文学作品が描き出す人間感情の機微を読み取るようにする。感動した文は、暗記して心に留める。	文学作品の中に出てくる、感動的で重要な意味合いの文を、何度も反復しながら味読する。		◎		○	◎		○		○
フランス語Ⅲ（総合） B234-146-41	短文の反復や言い換えにより、実生活に結びついたフランス語の表現を確実に身につける。	フランスで生活するつもりになって、フランス語でフランス人に意志を伝えるつもりで、フランス語会話に集中する。		◎		○	◎		○		○
フランス語Ⅳ（総合） B234-146-42	練習問題による言い換えにより、実生活に結びついたフランス語の構造を確実に身につける。	フランス語の基本的な例文を覚えると同時に、日本語からフランス語への言い換えも行えるようにする。		◎		○	◎		○		○
フランス語会話Ⅰ B234-146-51	フランス語の発音の仕方、身振り、手振りなどの動作、顔の表情などを、フランス人自身から直に学ぶ。	フランス人の発音、表情、動作などを、素直に反復することから始めて、外国人と対話する楽しみを知る。		◎		○	◎		○		○
フランス語会話Ⅱ B234-146-52	テキストの意味を理解するだけでなく、片言の語彙であっても、自分からフランス語を口に出して言ってみる。	進んで教師にフランス語で話しかけるようにする。文法を気にするよりも、身振りや表情を交えてコミュニケーションを取る。		◎		○	◎		○		○
韓国語Ⅰ（基礎） B134-148-11	初めて学ぶ人を対象に韓国語に関する基礎知識と運用力を養成する科目である。韓国語の文字と発音を始めとし、日常生活で使える簡単な会話を学習することとする。	「読む、書く、聞く、話す」の4機能を総合的に学習し、韓国語の基本的な構造について理解することを目指す。		◎	○		◎		○		○
韓国語Ⅱ（基礎） B134-148-12	初めて学ぶ人を対象に韓国語に関する基礎知識と運用力を養成する科目である。韓国語の文字と発音を始めとし、日常生活で使える簡単な会話を学習することとする。	「読む、書く、聞く、話す」の4機能を総合的に学習し、韓国語の基本的な構造について理解することを目指す。		◎	○		◎		○		○
韓国語Ⅲ（読解） B234-148-21	韓国語Ⅰ・Ⅱを履修した人を対象にし、レベルアップした基礎文法を学ぶ。コミュニケーションの訓練とともに、文法と構文の理解、表現力を身につける。また、旅行やビジネス場面でよく使われる表現を学ぶ。	韓国語の基礎文法を踏まえ、より豊かな基礎会話を養うことを目標にする。徐々に語彙・文法項目を増やしていき、韓国語で書かれた文章に対する理解力を高める。		◎	○		◎		○		○

教養教育科目 カリキュラムマップ											
授業科目名 科目ナンバー	授業の概要	授業の到達目標	B-DP1	B-DP2		B-DP3					
			自己探求 心の育成	理解・協調性		基礎学力の育成					
			B-DP1-1	B-DP2-1	B-DP2-2	B-DP3-1	B-DP3-2	B-DP3-3	B-DP3-4	B-DP3-5	B-DP3-6
			高い倫理性 と豊かな人 間性の涵養	多様な文化 と価値観の 理解	他者との協 調性	情報収集力 を培う	言語表現力 を培う	課題発見力 を養う	論理的思考 力を養う	問題解決力 を養う	自己表現力 を養う
韓国語Ⅳ（読解） B234-148-22	韓国語Ⅰ・Ⅱ・Ⅲを履修した人を対象にし、中級を目指して実践的な表現を学ぶ。定型表現の学習は、ものの描写、要求・依頼・主張など様々な場面にふさわしい構文と語彙を習得し、言語運用力を養う。	中級レベルの文法や語彙を学び、韓国語としてより自然で円滑なコミュニケーションができるようにする。より豊かな言語表現力を養い、韓国語文章に対する「読む・書く」能力の上達を目標にする。		◎	○		◎		○		○
韓国語Ⅲ（表現） B234-148-31	文字を覚えた学生を対象にし、授業計画に基づく韓国語の基礎知識と運用力を養成する。「読む」「書く」「聞く」「話す」の四技能をバランスよく総合的に身につけることを目指す。韓国語圏の世界の諸相を理解し、国際的な視野を広める。	韓国語の文字と発音を習った学生を対象とし、基本文の作り方を練習する。そのために、基本文法と単語の学習を充実に行う。これに基づいて、実際の現場で使われる多様な文の構造及び会話表現の習得を目標とする。		◎	○		◎		○		○
韓国語Ⅳ（表現） B234-148-32	韓国語の文字を覚えた学生を対象にし、授業計画に基づく韓国語の基礎知識と運用力を養成する。「読む」「書く」「聞く」「話す」の四技能をバランスよく総合的に身につけることを目指す。韓国語圏の世界の諸相を理解し、国際的な視野を広める。	韓国語の文字と発音を習った学生を対象とし、基礎的な文の作り方を練習する。そのために、基本文法と基礎単語の学習を充実に行う。実際の現場で使われる多様な文の構造及び会話表現の習得を目標とする。		◎	○		◎		○		○
韓国語Ⅲ（総合） B234-148-41	韓国語Ⅰ・Ⅱを履修した学生を対象にし、ハングル検定試験5級に合格するために必要な発音の仕組み、基本文法などを学習していく。文法事項や語句、日常会話文等を繰り返し練習し、ハングル検定試験5級合格に必要な基本的な能力を身につける。	基本文法については韓国語Ⅰ・Ⅱで学習した復習から始め、ハングル検定試験5級合格のために必要な発音と文法を学び、自ら学習できるようにする。基本文法と語句、日常会話文などの反復学習を通して習得していく。また練習問題と課題を通して、その定着と更なる応用発展を図る。		◎	○		◎		○		○
韓国語Ⅳ（総合） B234-148-42	ハングル検定試験5級に合格するため、基本文法、語句、日常会話文などを学習する。また11月に実施されるハングル検定試験に向けて実際の過去問を用いて練習する。適宜、試験に必要な発音や文法、語彙に関する解説を行う。	ハングル検定試験5級に合格する、あるいは5級に挑戦できる能力を身につけることを目標とする。すでに5級を取得した学生にとっても、次のステップアップにつながる足場を固める場となることを目標とする。		◎	○		◎		○		○
韓国語会話Ⅰ B234-148-51	韓国語の読み書きができ、文章の作成が出来るレベルに達していても、会話ができるとは限らない。ペアワークやグループワークを多く取り入れ、学んだ表現を使った会話文を用いて実際に話してみることにより、積極的に話す機会を与える。	ハングルの読み書きが確実にできるようにする。基礎的な文法を身につけ、あいさつ、自己紹介、身の回りのことについて自分の言いたいことを伝え、相手とコミュニケーションが取れるようにする。		◎	○		◎		○		○
韓国語会話Ⅱ B234-148-52	韓国語の読み書きができ、文章の作成が出来るレベルに達していても、会話ができるとは限らない。ペアワークやグループワークを多く取り入れ、学んだ表現を使った会話文を用いて実際に話してみることにより、積極的に話す機会を与える。	約700個の単語をもとに、初級レベルで必要な会話のスキルを身につけるようにする。その上で日本語とは異なる韓国語特有の会話の仕方を学習し、その背景にある文化についても考察できるようにする。		◎	○		◎		○		○
スペイン語Ⅰ（基礎） B134-149-11	初めて学ぶ人を対象にグローバル言語の1つであるスペイン語に関する基礎知識と運用力を養成する科目である。スペイン語の常用単語及び初歩的な文型を学び日常生活で使える簡単な会話を学習する。	スペイン語の常用単語及び初歩的な文型を習得し、簡単な日常会話を使えるようにする。		◎	○		◎		○		○

教養教育科目 カリキュラムマップ											
授業科目名 科目ナンバー	授業の概要	授業の到達目標	B-DP1	B-DP2		B-DP3					
			自己探求 心の育成	理解・協調性		基礎学力の育成					
			B-DP1-1	B-DP2-1	B-DP2-2	B-DP3-1	B-DP3-2	B-DP3-3	B-DP3-4	B-DP3-5	B-DP3-6
			高い倫理性 と豊かな人 間性の涵養	多様な文化 と価値観の 理解	他者との協 調性	情報収集力 を培う	言語表現力 を培う	課題発見力 を養う	論理的思考 力を養う	問題解決力 を養う	自己表現力 を養う
スペイン語Ⅱ（基礎） B134-149-12	スペイン語Ⅱ（基礎）で学んだスペイン語のさらなるステップアップを目指す。単語の理解や発音の習熟度をより高め、かつ使用できる文型を増やすことによって、スペイン語の運用能力を高める。	スペイン語の発音をより確実なものにし、多くの常用単語、重要文型を学び、初歩的なスペイン語運用能力を身につける。		◎	○		◎		○		○
スポーツ科学Ⅰ B115-592-01	運動の実践により、生涯健康の基礎作りを目指す。運動の楽しさや健康の価値・意味を理解し自己管理能力を養う。	運動習慣の確立により肉体的、精神的、社会的な健康を獲得する。学生同士の協調性や連帯感を理解させ、豊かな人間性を高めていく。	○	○	○	○	△	△	△	◎	◎
スポーツ科学Ⅱ B115-592-02	運動の実践により、生涯健康の基礎作りを目指す。運動の楽しさや健康の価値・意味を理解し自己管理能力を養う。	運動習慣の確立により肉体的、精神的、社会的な健康を獲得する。学生同士の協調性や連帯感を理解させ、豊かな人間性を高めていく。	○	○	○	○	△	△	△	◎	◎
スポーツ科学Ⅲ B235-592-03	生涯健康の応用と発展を目的とする。運動習慣の継続と生涯健康スキルを発展させる。	趣向や目的に適した種目を選択し、個人能力に応じたレベルでスポーツ実践する。「生涯健康の理論と実践の統合」を目標とする。	○	○	○	○	△	△	△	◎	◎
スポーツ科学Ⅳ B235-592-04	生涯健康の応用と発展を目的とする。運動習慣の継続と生涯健康スキルを発展させる。	趣向や目的に適した種目を選択し、個人能力に応じたレベルでスポーツ実践する。「生涯健康の理論と実践の統合」を目標とする。	○	○	○	○	△	△	△	◎	◎
海外事情Ⅰ B139-852-01	カナダ、オーストラリア、イギリス、アイルランド、台湾の各国の提携校でホームステイ先や学生宿舎に滞在しながら、語学力を磨いたり現地の文化を経験したりする。	渡航先の大学で開講される授業やプログラムを通して、語学力を向上させる。幅広く異文化に触れることで、多様な価値観や考え方を理解できるようになる。	◎	◎	◎	○	◎	△	△	△	◎
海外事情Ⅱ B139-852-02	カナダ、オーストラリア、イギリス、アイルランド、台湾の各国の提携校でホームステイ先や学生宿舎に滞在しながら、語学力を磨いたり現地の文化を経験したりする。	渡航先の大学で開講される授業やプログラムを通して、語学力を向上させる。幅広く異文化に触れることで、多様な価値観や考え方を理解できるようになる。	◎	◎	◎	○	◎	△	△	△	◎
海外事情Ⅲ B139-852-03	マレーシア、台湾、韓国の提携校で実施されるワークショップや文化交流に参加し、提携校の学生や各国の留学生と協力して共通の課題に向き合うことで、グローバル社会に役立つコミュニケーションと多文化共生に対する理解を深める。	研修先の学生や教員との交流を深めることで、現地の事情や文化への理解を深めることができる。研修先での国際経験を通じて、グローバル社会で活躍できる人材となる基礎を身につける。	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
海外事情Ⅳ B139-852-04	マレーシア、台湾、韓国の提携校で実施されるワークショップや文化交流に参加し、提携校の学生や各国の留学生と協力して共通の課題に向き合うことで、グローバル社会に役立つコミュニケーションと多文化共生に対する理解を深める。	研修先の学生や教員との交流を深めることで、現地の事情や文化への理解を深めることができる。研修先での国際経験を通じて、グローバル社会で活躍できる人材となる基礎を身につける。	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎

◎・・・教育目標達成のために、特に重要な事項

○・・・教育目標達成のために、重要な事項

△・・・教育目標達成のために、望ましい事項

商学部 カリキュラムマップ

商学部商学科の「人材の養成・教育研究上の目的」（要旨）												
商学部は、「ビジネス・ヒューマン・バリュー（Business Human Value）の創造」とし、「ビジネス・ヒューマン・バリュー」をもつ人材の育成を行っている。「ビジネス・ヒューマン・バリュー」とは、①本学建学の精神である「行学一体」、「報恩感謝」を深く理解し、高い倫理観と豊かな人間性をもつこと、および②ビジネスに関する専門的な知識や技能を修得し、ビジネスの現場をはじめとする協働の場において様々な問題解決を図る能力を身につけていること、を意味する。												
商学部商学科 カリキュラムマップ			商学部商学科のディプロマポリシー（DP）									
授業科目名 科目ナンバー	授業の概要	授業の到達目標	C-DP1	C-DP2								
			本学建学の精神である「行学一体」、「報恩感謝」への深い理解、高い倫理観と豊かな人間性	ビジネスに関する専門的能力、およびビジネスの現場をはじめとする協働の場において様々な問題解決を図る能力								
			C-DP1-1	C-DP2-1	C-DP2-2	C-DP2-3	C-DP2-4	C-DP2-5	C-DP2-6	C-DP2-7	C-DP2-8	C-DP2-9
			幅広い教養を身につけている。	ビジネスの現場において必要不可欠とされる広範な知識や技能を修得している。	流通、およびマーケティングに関する深い知識や優れた技能を身につけている。	国際ビジネスに関する深い知識や優れた技能を身につけている。	会計に関する深い知識や優れた技能を身につけている。	金融に関する深い知識や優れた技能を身につけている。	情報通信技術に関する深い知識や優れた技能を身につけている。	ビジネスと情報との関わりに関する深い知識や優れた技能を身につけている。	修得した専門的な知識や技能を用いて、ビジネスの現場において自ら問題を発見し、それを解決することができる。	ビジネスの現場における問題解決に必要なコミュニケーション能力を身につけている。
商学入門 C131-239-00	この授業では、愛知学院大学商学部で4年間に何を学ぶのか、3つのコース（流通・マーケティング、会計・金融、ビジネス情報）のそれぞれにおいてどのようなことを学ぶのかを理解する。	商学部での学修内容に関心をもち、将来、どのようなコース（専攻）を選択するのかを決定する際に役立つ、各分野における最も基礎的な知識を身につける。	△	◎	△	△	△	△	△	△		
経済学 A C131-232-01	社会科学全般の根幹分野である経済学の、またその基礎的部分のミクロ経済学について学習する。具体的には、個々の家計や企業がどのような動機に基づいて行動を選択しているか、またその意思決定がどのように相互に関連しているのかを学ぶ。	市場の果たす役割を理解できるようになる。消費者物価とは何か、なぜ消費者物価は上下するのか、消費者物価の上昇は私たちの生活にどのような影響をもたらすのか、私たちの生活をよりよくするために何をすべきか、等を理解できるようになる。		◎					△			
経済学 B C131-232-02	社会科学全般の根幹分野である経済学の、またその基礎的部分のマクロ経済学について学習する。具体的には、GDP、物価、雇用といった一国の経済全体の動きを決めるメカニズムを学ぶ。	GDP、物価、雇用といった概念の理解を通して、一国の経済全体のメカニズムを捉える能力を身につけることができる。		◎					△			
流通論 A C111-239-41	本講義のテーマは流通に関する基礎概念を学ぶことです。流通という言葉の意味から始まり、それにまつわる様々な用語の解説をします。私たちの生活にとって、流通は重要な経済活動の一つですが、そこに含まれる活動にはどのようなものがあるのか取り上げていきます。	流通に関する基礎的な用語の意味を理解することができます。また、流通に含まれる様々な活動の存在を知り、それらを整理して理解することができます。		◎	△	△						
流通論 B C111-239-42	本講義のテーマは、流通活動を担当している流通機関の種類と役割、それを規制する政策について学ぶことです。生産者、小売業者、卸売業者など、自分たちに身近な企業が流通においてどのような役割を果たしているのか。また、自らが消費者として流通にかかわっている点も学ぶことになります。	生産者、小売業者、卸売業者、消費者など流通機関の種類と役割について理解することができる。とりわけ、商業者（小売業者、卸売業者）の社会的存在意義について自分なりに説明できるようになる。		◎	△	△						

商学部商学科 カリキュラムマップ			商学部商学科のディプロマポリシー（DP）									
授業科目名 科目ナンバー	授業の概要	授業の到達目標	C-DP1	C-DP2								
			本学建学の精神である「行学一体」、 「報恩感謝」への深い理解、高い倫理観と豊かな人間性	ビジネスに関する専門的能力、およびビジネスの現場をはじめとする協働の場において様々な問題解決を図る能力								
			C-DP1-1	C-DP2-1	C-DP2-2	C-DP2-3	C-DP2-4	C-DP2-5	C-DP2-6	C-DP2-7	C-DP2-8	C-DP2-9
			幅広い教養を身につけている。	ビジネスの現場において必要不可欠とされる広範な知識や技能を修得している。	流通、およびマーケティングに関する深い知識や優れた技能を身につけている。	国際ビジネスに関する深い知識や優れた技能を身につけている。	会計に関する深い知識や優れた技能を身につけている。	金融に関する深い知識や優れた技能を身につけている。	情報通信技術に関する深い知識や優れた技能を身につけている。	ビジネスと情報との関わりに関する深い知識や優れた技能を身につけている。	修得した専門的な知識や技能を用いて、ビジネスの現場において自ら問題を発見し、それを解決することができる。	ビジネスの現場における問題解決に必要なコミュニケーション能力を身につけている。
会計学A C211-240-11	会計とは、経済主体の経済活動について、関わりを持つ人々が、事情を分かった上で判断や意思決定ができるように、彼らに説明する社会的な行為である。この講義では、会計とは何かから始め、会計の基本的な知識と考え方の習得を目指す。	会計の基本的な考え方を身につけ、財務諸表を理解できるようにする。		◎			△					
会計学B C211-240-12	会計とは、企業などの経済主体の経済活動について、それらと関わりを持つ人々が、事情を分かった上で判断や意思決定ができるように、会計情報を作成して、彼らに説明する社会的な行為である。会計の基本的な知識と考え方の習得を目指す。	会計の考え方を身につけ、会計に関する幅広い知識を習得する。財務諸表を読んで判断や意思決定ができるようにする。		◎			△					
情報リテラシーA C111-601-01	大学生の多くは、レポート（報告書）や卒業論文など、文書を作成する。本科目では、情報処理の基礎（機器、マナー、OS）を学び、ワープロソフトを使って、文書作成を演習する。	コンピュータを利用するための基礎がわかる。ワープロソフトを利用して、文書作成ができる。上級者は、MOS（マイクロソフト オフィス スペシャリスト）試験に合格する。		◎					△	△		
情報リテラシーB C111-601-02	大学生の多くは、相手に情報を効率的に説明する目的で、データを集めて分析する。本科目では、表計算ソフトを使って、データ集計やグラフ作成を演習する。	一般的な表計算ソフトが使えるようになる。上級者は、MOS（マイクロソフト オフィス スペシャリスト）試験に合格する。		◎					△	△		
マーケティング論A C231-239-21	企業のマーケティング活動とは、「動態的に変化していく市場や環境に対し、企業が創造的に適応していく対市場活動」である。この授業では、マーケティング論の体系のうち、基礎的・総論的な内容について学ぶ。	ビジネスにおいて必要とされる、マーケティングの基礎的な概念や理論を身につけることができ、将来、自らマーケティング戦略を策定し、実行するための基本的な能力を修得することができる。			◎	○						
マーケティング論B C231-239-22	企業のマーケティング活動とは、「動態的に変化していく市場や環境に対し、企業が創造的に適応していく対市場活動」である。この授業では、マーケティング論の体系のうち、各論的な内容について学ぶ。	ビジネスにおいて必要とされる、マーケティングの基礎的な概念や理論を身につけることができ、将来、自らマーケティング戦略を策定し、実行するための基本的な能力を修得することができる。			◎	○						

商学部商学科 カリキュラムマップ			商学部商学科のディプロマポリシー（DP）									
授業科目名 科目ナンバー	授業の概要	授業の到達目標	C-DP1	C-DP2								
			本学建学の精神である「行学一体」、 「報恩感謝」への深い理解、高い倫理観と豊かな人間性	ビジネスに関する専門的能力、およびビジネスの現場をはじめとする協働の場において様々な問題解決を図る能力								
			C-DP1-1	C-DP2-1	C-DP2-2	C-DP2-3	C-DP2-4	C-DP2-5	C-DP2-6	C-DP2-7	C-DP2-8	C-DP2-9
			幅広い教養を身に付けている。	ビジネスの現場において必要不可欠とされる広範な知識や技能を修得している。	流通、およびマーケティングに関する深い知識や優れた技能を身に付けている。	国際ビジネスに関する深い知識や優れた技能を身に付けている。	会計に関する深い知識や優れた技能を身に付けている。	金融に関する深い知識や優れた技能を身に付けている。	情報通信技術に関する深い知識や優れた技能を身に付けている。	ビジネスと情報との関わりに関する深い知識や優れた技能を身に付けている。	修得した専門的な知識や技能を用いて、ビジネスの現場において自ら問題を発見し、それを解決することができる。	ビジネスの現場における問題解決に必要なコミュニケーション能力を身に付けている。
小売経営論 A C231-239-23	小売業の現状と業種、業態を理解させ、小売ミックスにより小売業の外部環境を含め理論と実態から学んでゆきます。	小売業の業種と業種の実態から小売ミックス実践の相違が読み取れる能力を養うことができる。			◎	△						
小売経営論 B C231-239-25	小売ミックスを店舗規模等も考慮し、個店の店舗設計の基礎、店舗内の商品構成、陳列、客動線を理解させ、個店経営能力を学んでゆきます。	小売業の個別店舗を中心に店舗内部における企画、設計、品揃え等々を考え、小売業の活性化の力を養うことができる。			◎	△						
国際ビジネス論 A C231-239-51	国際ビジネスの基礎的な事項を習得できるようにする。	国際ビジネスを展開する多国籍企業がいかなるビジネスとマーケティングをおこなっているのかを明らかにし、正確な理解と実務へ応用できるようにすることに繋げるのが本科目の目標です。			○	◎						
国際ビジネス論 B C231-239-52	国際ビジネスの応用的な事項を習得できるようにする。	国際ビジネスを展開する多国籍企業が具体的なビジネスとマーケティング戦略行動をおこなっているのかを明らかにし、理解、実務へ具体的な事例へと応用できるようにすることに繋げるのが本科目の目的です。 講義内容は国際ビジネス論Aを履修していない学生には理解が難しい。			○	◎						
経営学 A C231-238-01	この講義では、前半で経営学の基本的な考え方や株式会社をはじめとする企業のかたちについて学習し、後半で戦略論の基礎的な理論について学習することを目的とします。	経営学の基本的な考え方と戦略論を学ぶことにより、ビジネス社会の中で生きていく上での、問題解決力を培うことができる。		◎								
経営学 B C231-238-02	この講義では、CSRの基礎知識を学び、それによって企業のCSRウェブサイトにより理解し、現在の企業のCSRの現状について学習します。	CSRについて基本的な知識を体系的に理解することができるようになる。それを通じて、市民としての社会的責任についても熟考していける態度を身に付けることができる。		◎								
簿記Ⅰ A C131-240-01	簿記とは、企業の様々な経済活動を、数値として記録・計算・整理するための手段であり、これから皆さんが学習する商学や会計学とも関係するものです。簿記では、簿記の基本的な考え方や手続きについて学習します。	簿記ⅠA・ⅠBでの授業および計算問題演習を通じて、簿記（特に複式簿記）の基礎的な事項の知識習得を目標とします。具体的には、日商簿記検定3級レベルの知識の習得を目指します。					◎					

商学部商学科 カリキュラムマップ			商学部商学科のディプロマポリシー (DP)									
授業科目名 科目ナンバー	授業の概要	授業の到達目標	C-DP1	C-DP2								
			本学建学の精神である「行学一体」、 「報恩感謝」への深い理解、高い倫理観と豊かな人間性	ビジネスに関する専門的能力、およびビジネスの現場をはじめとする協働の場において様々な問題解決を図る能力								
			C-DP1-1	C-DP2-1	C-DP2-2	C-DP2-3	C-DP2-4	C-DP2-5	C-DP2-6	C-DP2-7	C-DP2-8	C-DP2-9
			幅広い教養を身につけている。	ビジネスの現場において必要不可欠とされる広範な知識や技能を修得している。	流通、およびマーケティングに関する深い知識や優れた技能を身につけている。	国際ビジネスに関する深い知識や優れた技能を身につけている。	会計に関する深い知識や優れた技能を身につけている。	金融に関する深い知識や優れた技能を身につけている。	情報通信技術に関する深い知識や優れた技能を身につけている。	ビジネスと情報との関わりに関する深い知識や優れた技能を身につけている。	修得した専門的な知識や技能を用いて、ビジネスの現場において自ら問題を発見し、それを解決することができる。	ビジネスの現場における問題解決に必要なコミュニケーション能力を身につけている。
簿記ⅠB C131-240-02	簿記とは、企業の様々な経済活動を、数値として記録・計算・整理するための手段であり、これから皆さんが学習する商学や会計学とも関係するものです。簿記では、簿記の基本的な考え方や手続きについて学習します。	簿記ⅠA・ⅠBでの授業および計算問題演習を通じて、簿記（特に複式簿記）の基礎的な事項の知識習得を目標とします。具体的には、日商簿記検定3級レベルの知識の習得を目指します。					◎					
金融論A C231-236-01	標準的な金融論(主として制度・政策面)の考え方を、主として商学部2年次学生向けに編成したもののについて修得します。 授業方法(学習指導法)： 講義形式で必要に応じて質疑応答形式も取り入れて学習します。したがって、宿題や予習(教科書や参考文献などの学習)ならびに復習をおこなうことが求められます。また、概ね毎週レポートを書くことが課されます。	現代経済経営の金融面における諸領域の基礎について、とりわけ主体行動や市場機構などに関する基礎的知識を修得し主要事項について説明できるようになるため、ならびに金融制度・政策にわたる多角的視点から金融動向を観察し現実の諸問題に対して考察し基礎的事項を修得するために、自ら図書館およびインターネットなどを利用し調査することができるようになることを目標とします。						◎				
金融論B C231-236-02	標準的な金融論(主として理論・政策面)の考え方を、主として商学部2年次学生向けに編成したもののについて修得します。 授業方法(学習指導法)： 講義形式で必要に応じて質疑応答形式も取り入れて学習します。したがって、宿題や予習(教科書や参考文献などの学習)ならびに復習をおこなうことが求められます。また、概ね毎週レポートを書くことが課されます。	現代経済経営の金融面における諸領域の基礎について、とりわけ主体行動や市場機構などに関する基礎的知識を修得し主要事項について説明できるようになるため、ならびに金融理論・政策にわたる多角的視点から金融動向を観察し現実の諸問題に対して考察し基礎的事項を修得するために、自ら図書館およびインターネットなどを利用し調査することができるようになることを目標とします。						◎				
財務会計論A C331-240-13	21世紀の会計の展開方向を確認しながら、それを支援する会計システムとしての共益三元簿記の概要を説明する。	1. パチョーリの神聖簿記論の理念を理解する。 2. 新しい会計システムの構造を理解する。 3. 資本主説と企業主体説の違いを理解する。					◎					
財務会計論B C331-240-14	21世紀の会計の展開方向を確認しながら、その展開を指導する新概念フレームワークについて、新旧の違いを明らかにして、近年姿を現してきた会計の大転換の内容を説明する。	1. 新旧の概念フレームワークの違いを理解する。 2. 新しい会計が新資本主義への移行を促すことを理解する。 3. 営利会計と非営利会計の統合について理解する。					◎					

商学部商学科 カリキュラムマップ			商学部商学科のディプロマポリシー（DP）									
授業科目名 科目ナンバー	授業の概要	授業の到達目標	C-DP1	C-DP2								
			本学建学の精神である「行学一体」、 「報恩感謝」への深い理解、高い倫理観と豊かな人間性	ビジネスに関する専門的能力、およびビジネスの現場をはじめとする協働の場において様々な問題解決を図る能力								
			C-DP1-1	C-DP2-1	C-DP2-2	C-DP2-3	C-DP2-4	C-DP2-5	C-DP2-6	C-DP2-7	C-DP2-8	C-DP2-9
			幅広い教養を身につけている。	ビジネスの現場において必要不可欠とされる広範な知識や技能を修得している。	流通、およびマーケティングに関する深い知識や優れた技能を身につけている。	国際ビジネスに関する深い知識や優れた技能を身につけている。	会計に関する深い知識や優れた技能を身につけている。	金融に関する深い知識や優れた技能を身につけている。	情報通信技術に関する深い知識や優れた技能を身につけている。	ビジネスと情報との関わりに関する深い知識や優れた技能を身につけている。	修得した専門的な知識や技能を用いて、ビジネスの現場において自ら問題を発見し、それを解決することができる。	ビジネスの現場における問題解決に必要なコミュニケーション能力を身につけている。
保険論A C231-236-21	保険は「危険」に対処するための手段として発展してきましたが、日本人は危険の意味さえもしか理解できていません。日本人の特徴を踏まえ、危険と保険そしてリスクの関係を理解してください。	「やばい!」と「危険」は同じ? 日本語の「危険」はきわめて多義的で曖昧です。まず、保険理特有の危険の意味を理解し、正しい形でリスク対策としての保険理論を自分のものにしてください。						◎				
保険論B C231-236-22	保険論Aの知識を基礎にリスク対策としての保険について、その限界や限界の克服方法について学び始めます。保険論Aを履修していない学生も理解できるように工夫しますが、学生も頑張ってください。	保険はあらゆるリスクに対応できるものでないが、保険の限界克服のために日進月歩の発展をしています。それを理解し各種の保険の経営形態や国家の保険政策について理解してください。						◎				
情報社会論 C231-902-41	ビジネス、生活、社会、組織一般で利用されている情報システム、ネットワーク、情報の光と影を学んでゆきます。	身近な情報システムの理解を通じて、情報化社会の進展に対応する力を養うことができる。							○	◎		
情報倫理 C231-902-43	授業は、コンピュータとインターネットの関連知識として「歴史、関連法、情報社会での利用状況」、「セキュリティの概要」、「ケーススタディ」の3つに分類する。特にセキュリティに重点を置く。	個人でも企業でも、規模の大小に関わらず情報を扱うことが、加害者や被害者になる可能性になる。可能性からの回避は、関連知識をベースとした判断力が必要である。そのために適正な対処能力を育成する。							○	◎		
ビジネス情報論A C231-239-45	本講義のテーマは、インターネット通販を中心としたeコマース（電子商取引）の仕組みを学ぶことです。インターネット通販を中心としたeコマースの捉え方として、情報ネットワークの進展として捉えるアプローチと、流通の進化として捉えるアプローチが考えられます。本講義では、流通論の応用編として、それを小売流通の一形態として捉えて仕組みを解説していきます。	インターネット通販の仕組みを理解することができる。 インターネット通販の事例を踏まえて、それに関連する企業のマーケティング戦略に関する知識を得ることができる。 インターネット通販を利用する消費者の行動に関する理論を理解することができる。			◎					◎		
ビジネス情報論B C231-239-46	情報システム論の流通に関する分野を中心にしながら考察し、小売業の販売時点情報システムを学んでゆきます。	情報システム論の基礎理解を通じて、流通業の情報システム構築の力を養うことができる。			◎					◎		

商学部商学科 カリキュラムマップ			商学部商学科のディプロマポリシー（DP）									
授業科目名 科目ナンバー	授業の概要	授業の到達目標	C-DP1	C-DP2								
			本学建学の精神である「行学一体」、 「報恩感謝」への深い理解、高い倫理観と豊かな人間性	ビジネスに関する専門的能力、およびビジネスの現場をはじめとする協働の場において様々な問題解決を図る能力								
			C-DP1-1	C-DP2-1	C-DP2-2	C-DP2-3	C-DP2-4	C-DP2-5	C-DP2-6	C-DP2-7	C-DP2-8	C-DP2-9
			幅広い教養を身につけている。	ビジネスの現場において必要不可欠とされる広範な知識や技能を修得している。	流通、およびマーケティングに関する深い知識や優れた技能を身につけている。	国際ビジネスに関する深い知識や優れた技能を身につけている。	会計に関する深い知識や優れた技能を身につけている。	金融に関する深い知識や優れた技能を身につけている。	情報通信技術に関する深い知識や優れた技能を身につけている。	ビジネスと情報との関わりに関する深い知識や優れた技能を身につけている。	修得した専門的な知識や技能を用いて、ビジネスの現場において自ら問題を発見し、それを解決することができる。	ビジネスの現場における問題解決に必要なコミュニケーション能力を身につけている。
データ分析Ⅰ C231-603-31	統計処理の基礎知識を学び、Excelを用いることによって実践的なビジネスデータの分析手法を理解する。	Excelの利用において頻出の関数や複雑な数式を自由に使いこなせることができる。 ビジネスで使われるデータの特性を理解し、その統計処理を行い適切なグラフで表現できる。							◎	◎		
データ分析Ⅱ C231-603-32	煩雑なデータ処理を自動化するために、ExcelのマクロおよびVBAの活用についてビジネスデータを用いて学ぶ。	Excelにおいてマクロの作成や編集およびプログラミング言語「VBA」を活用し、効率よくデータ処理業務を進めることができる。							◎	◎		
流通政策 A C331-239-43	マーケティング・流通関連科目で学習したことを基礎として、第一に、流通政策の基礎的な概念や近年の転換を理解します。第二に、流通政策の一部門であり、近年強化改正され、企業活動で重要性が高まっている競争政策（独占禁止法）について理解します。特に、競争政策が企業の活動に与える影響や、企業の対応について特に理解を深めます。	①流通政策の根拠・目的・枠組みを説明することができる。 ②競争政策の根拠・目的・枠組みと企業活動に対する具体的な規制内容を説明することができる。 ③流通政策の課題を見つけ、自ら調べ、考え、文章で表現することができる。			◎	△						
流通政策 B C331-239-44	マーケティング・流通関連科目で学習したことを基礎として、流通政策の一分野である中小小売商業の振興政策、大規模小売店舗出店の調整政策、商業まちづくり政策を理解します。特に近年の大規模小売業者の成長・上位集中化や中小小売業者の衰退といった流通部門の変化と、これらの政策の変化との関係について理解を深めます。	①振興政策、調整政策、商業まちづくり政策の根拠・目的・枠組みを説明することができる。 ②流通部門の変化とこれらの政策の変化を関連付けて説明することができる。 ③流通政策の課題を見つけ、自ら調べ、考え、文章で表現することができる。			◎	△						
製品戦略論 C331-239-29	この講義は、広く企業が競争してきた製品に関して有形・無形の役割を果たしていること、今日の企業の競争にはブランドが企業経営において中核的な役割のひとつを担っていくことが理解する。	この講義の到達目標は、マーケティング論の中で製品戦略を位置付けること、製品戦略がどのように顧客ニーズを充足しているかを理解すること、そして、異業種間の連携によって背景戦略が有効となることを身につけることにある。			◎	△						
ブランド論 C331-239-30	この講義では、戦略的なブランド論の理解を目的とする。戦略的な視点からブランドを捉えることは、日々の生活の中でのイメージ、サービスに関する付加価値、そして持続的な発展競争優位を遂げることを学んでいく。	この講義の到達目標は、広く企業が競争してきた製品に関して有形・無形の役割を果たしていること、今日の企業の競争にはブランドが企業経営において中核的な役割のひとつを担っていくことが理解できることにある。			◎	△						

商学部商学科 カリキュラムマップ			商学部商学科のディプロマポリシー（DP）									
授業科目名 科目ナンバー	授業の概要	授業の到達目標	C-DP1	C-DP2								
			本学建学の精神である「行学一体」、 「報恩感謝」への深い理解、高い倫理観と豊かな人間性	ビジネスに関する専門的能力、およびビジネスの現場をはじめとする協働の場において様々な問題解決を図る能力								
			C-DP1-1	C-DP2-1	C-DP2-2	C-DP2-3	C-DP2-4	C-DP2-5	C-DP2-6	C-DP2-7	C-DP2-8	C-DP2-9
			幅広い教養を身につけている。	ビジネスの現場において必要不可欠とされる広範な知識や技能を修得している。	流通、およびマーケティングに関する深い知識や優れた技能を身につけている。	国際ビジネスに関する深い知識や優れた技能を身につけている。	会計に関する深い知識や優れた技能を身につけている。	金融に関する深い知識や優れた技能を身につけている。	情報通信技術に関する深い知識や優れた技能を身につけている。	ビジネスと情報との関わりに関する深い知識や優れた技能を身につけている。	修得した専門的な知識や技能を用いて、ビジネスの現場において自ら問題を発見し、それを解決することができる。	ビジネスの現場における問題解決に必要なコミュニケーション能力を身につけている。
消費者行動論 C231-239-24	本講義では、適切なマーケティング戦略の策定に役立つ、①消費者の心理的、行動的側面に関する理論や概念、および②消費社会に関する主要な見解について学ぶ。	将来、マーケティング実務においてマーケティング戦略を自ら策定し、実行するために必要な消費者行動論の知見（①消費者の心理的、行動的側面に関する知見、②消費社会についての知見）を身につけることができる。			◎	△						
サービス・マーケティング論 C331-239-26	本講義ではサービス業のマーケティングについて総合的に学習します。サービスの概念や特性といった基本的な内容から今日的な研究課題に関してサービス・マーケティングの理論と手法について学びます。	サービス・マーケティング論の概念や理論に関する知識を体系的に習得することができる。サービス業において実践されているマーケティング活動について分析、考察する力を身につけることができる。			◎	△						
マーケティング・リサーチ論 C331-239-28	「マーケティングに関わる意思決定に資する情報を取得する活動」としてのマーケティング・リサーチの基本的な理論と手法を学ぶ。具体的には、マーケティング・リサーチの種類、データの収集、集計、分析のための基本的な理論や手法等を身につける。	本講義でデータの収集、集計、分析のための基本的な理論や手法を理解することによって、マーケティングに関わるさまざまな意思決定、戦略策定を自ら行う能力を身につけることができる。			◎	△				△		
ビジネス・リサーチ C331-238-09	本授業では、マーケット・モノにかかわる問題を素材に、一連のフローの各局面で用いる手法の基礎を学び、レポート・論文（基礎）や企業（応用）で活用することを目指します。なお、手法については定性的なリサーチの手法について学びます。	流通・マーケティングの学習や企業の実務に必要な、課題の発見→情報の収集→分析→解決策の立案→発表という一連のフローの各局面で用いる手法の基礎を理解し、これらを実行することができる。			◎	△				△		
広告論 C331-239-27	本科目では、広告主（広告料金を支払って広告を掲出する主体のこと）の立場から、マーケティング・コミュニケーション戦略、および広告戦略を自ら策定し、実行するための理論や手法について学ぶ。	広告主の立場からマーケティング・コミュニケーション戦略、および広告戦略を自ら策定し、実行するための基礎的な能力を養うことができる。			◎	△						
国際商務論 A C331-239-53	国際取引の典型である貿易取引を、国民経済間の経済交流活動としてマクロの視点から学ぶ。特に、日本の貿易取引の現状および動向について、貿易統計や国際収支統計を始めとする各種の統計資料や映像資料に基づいて理解してゆく。	日本の貿易取引の現状を理解することで、将来こうした分野にすんだ者にとって、自社の行動を的確に分析することができる。また、戦後70年間の日本の貿易取引の動向を理解することで、今後の動向を予測することができる。				◎						

商学部商学科 カリキュラムマップ			商学部商学科のディプロマポリシー（DP）									
授業科目名 科目ナンバー	授業の概要	授業の到達目標	C-DP1	C-DP2								
			本学建学の精神である「行学一体」、 「報恩感謝」への深い理解、高い倫理観と豊かな人間性	ビジネスに関する専門的能力、およびビジネスの現場をはじめとする協働の場において様々な問題解決を図る能力								
			C-DP1-1	C-DP2-1	C-DP2-2	C-DP2-3	C-DP2-4	C-DP2-5	C-DP2-6	C-DP2-7	C-DP2-8	C-DP2-9
			幅広い教養を身につけている。	ビジネスの現場において必要不可欠とされる広範な知識や技能を修得している。	流通、およびマーケティングに関する深い知識や優れた技能を身につけている。	国際ビジネスに関する深い知識や優れた技能を身につけている。	会計に関する深い知識や優れた技能を身につけている。	金融に関する深い知識や優れた技能を身につけている。	情報通信技術に関する深い知識や優れた技能を身につけている。	ビジネスと情報との関わりに関する深い知識や優れた技能を身につけている。	修得した専門的な知識や技能を用いて、ビジネスの現場において自ら問題を発見し、それを解決することができる。	ビジネスの現場における問題解決に必要なコミュニケーション能力を身につけている。
国際商務論 B C331-239-54	国際取引の典型である貿易取引を、企業や個人間の取引活動としてミクロの視点から学ぶ。具体的に展開する方法・技術・手続きといった実務的側面と、貿易契約に関する商慣習を中心とする売買理論的側面の2面から理解してゆく。	国際取引の典型である貿易取引の実務的側面と売買理論的側面とを理解することで、将来こうした海外の業者との取引に関わる者にとって、自社の取引内容を論理的に分析し、自社の取引活動を的確な方向へ進めることができる。				◎						
国際マーケティング論 A C331-239-55	経済のグローバル化に伴い、ビジネスは多面的に展開される。本講座では、国際マーケティングについて、概要と諸理論に関する基礎と、その応用事例を学ぶことで、マーケティングの全体像を理解する。	国際情勢における経済の仕組み、経営活動におけるマーケティングの位置づけを理解することにより、地域社会における多様性に考えを及ぼすことができる。これにより問題点の発見、原因の解析、その解決策について多面的に考察する態度を養うことができる。			○	◎						
国際マーケティング論 B C331-239-56	経済のグローバル化は、国境の概念を薄れさせる。グローバル化は文化の多様性をもたらす反面、社会生活の軋轢も生みだす。本講座では、実践科学とされるマーケティング活動において、生産財（中間財）に焦点を当て、メーカーの経営活動を研究しつつ、国際マーケティングの実践を学ぶ。	多国籍企業の戦略事例から、国際情勢における経済の仕組み、経営活動におけるマーケティングの位置づけを理解することにより、地域社会における多様性に考えを及ぼすことが出来る。			○	◎						
貿易政策 A C331-239-57	WTO（世界貿易機関）は、国際貿易に関するルールを取り扱う唯一の国際機関であり、現在、日本を含む160以上の国々が加盟しています。この講義では、WTOとそれが規定する主要な貿易ルールや通商上の紛争の解決方法を学びます。	今日の国際貿易ルールの基本的な概要を正しく理解することができるようになります。また、「保護主義的な貿易政策」「関税措置」「スーパー301条」など、今後の日米貿易のキーワードとなる可能性の高い用語と、その歴史的背景を理解できるようになります。				◎						
貿易政策 B C331-239-58	WTO（世界貿易機関）は、国際貿易に関するルールを取り扱う唯一の国際機関であり、現在、日本を含む160以上の国々が加盟しています。この講義では、1986年から1994年にかけて実施されたウルグアイ・ラウンド交渉で初めて策定された新しい貿易ルールに焦点を当てます。	EPAやTPPといった地域貿易協定や、貿易と環境問題をそして貿易と公衆衛生の問題など、ニュース等で頻繁に耳にする旬な話題の「基礎」を正しく理解することができるようになります。また、2014年から開始された地理的表示保護制度についても詳しく学ぶことができます。				◎						

商学部商学科 カリキュラムマップ			商学部商学科のディプロマポリシー（DP）									
授業科目名 科目ナンバー	授業の概要	授業の到達目標	C-DP1	C-DP2								
			本学建学の精神である「行学一体」、 「報恩感謝」への深い理解、高い倫理観と豊かな人間性	ビジネスに関する専門的能力、およびビジネスの現場をはじめとする協働の場において様々な問題解決を図る能力								
			C-DP1-1	C-DP2-1	C-DP2-2	C-DP2-3	C-DP2-4	C-DP2-5	C-DP2-6	C-DP2-7	C-DP2-8	C-DP2-9
			幅広い教養を身に付けている。	ビジネスの現場において必要不可欠とされる広範な知識や技能を修得している。	流通、およびマーケティングに関する深い知識や優れた技能を身に付けている。	国際ビジネスに関する深い知識や優れた技能を身に付けている。	会計に関する深い知識や優れた技能を身に付けている。	金融に関する深い知識や優れた技能を身に付けている。	情報通信技術に関する深い知識や優れた技能を身に付けている。	ビジネスと情報との関わりに関する深い知識や優れた技能を身に付けている。	修得した専門的な知識や技能を用いて、ビジネスの現場において自ら問題を発見し、それを解決することができる。	ビジネスの現場における問題解決に必要なコミュニケーション能力を身に付けている。
経営管理論 C331-238-08	この講義では、リーダーシップ論やメンタリングの理論、モチベーション論、コミュニケーション論について勉強します。いわゆる人のマネジメントの理論で、職場で働いてくのに必要不可欠な知識です。	リーダーシップについての知識、チームワークに必要なコミュニケーションの知識、自らを律することのできるモチベーションの知識を獲得することができる。		◎								
経営組織論 C331-238-07	この講義では、組織のかたちや組織形態の変化、さらには管理論の古典(伝統的組織論、人間関係論、近代組織論)を学習します。これらの知識は、現在のマネジメントの考え方の基底にある知識です。	組織のかたちや変化、古典的な管理論を学ぶことにより、現代の企業組織と企業社会に関する知識を習得することができる。		◎								
簿記Ⅱ A C131-240-03	ビジネス社会において、簿記の知識は必須のものとされています。簿記Ⅱ A・B では、株式会社を対象とした複式簿記について学修します。本講義では、株式発行など様々な仕訳を学修します。	簿記Ⅱ A・B での授業および計算問題演習を通じて、株式会社を対象とした複式簿記を理解できるようになり、日商簿記検定2級（商業簿記）レベルの知識を修得します。					◎					
簿記Ⅱ B C131-240-04	ビジネス社会において、簿記の知識は必須のものとされています。簿記Ⅱ A・B では、株式会社を対象とした複式簿記について学修します。本講義では、合併など応用レベルの様々な仕訳を学修します。	簿記Ⅱ A・B での授業および計算問題演習を通じて、株式会社を対象とした複式簿記を理解できるようになり、日商簿記検定2級（商業簿記）レベルの知識を修得します。					◎					
上級簿記 A C231-240-05	簿記一巡の手続き、.商品売買、.棚卸資産、売価還元法、他勘定振替、割賦販売、委託販売、建設業簿記、.現金預金、貸倒引当金といった内容について学習します。	日商簿記検定1級合格に向けた基礎力をマスターすることができます。					◎					
上級簿記 B C231-240-06	有価証券、有形固定資産、圧縮記帳、リース、無形固定資産、退職給付引当金、社債、税効果会計といった内容について学習します。	日商簿記検定1級合格に向けた基礎力をマスターすることができます。					◎					
原価会計論 A C231-240-21	原価会計論 A・B では、原価の計算について学習します。本講義では主に、原価計算を学ぶうえで知っておくべき基礎的な知識や、財務諸表作成にも関わる原価情報の計算（実際原価計算）について学習します。	原価会計論 A・B での授業および計算問題演習を通じて、原価の種類や計算方法に関する日商簿記検定2級（工業簿記）レベルの知識の習得と、実際にそれらの原価計算ができるようになることを目標とします。					◎					

商学部商学科 カリキュラムマップ			商学部商学科のディプロマポリシー（DP）									
授業科目名 科目ナンバー	授業の概要	授業の到達目標	C-DP1	C-DP2								
			本学建学の精神である「行学一体」、 「報恩感謝」への深い理解、高い倫理観と豊かな人間性	ビジネスに関する専門的能力、およびビジネスの現場をはじめとする協働の場において様々な問題解決を図る能力								
			C-DP1-1	C-DP2-1	C-DP2-2	C-DP2-3	C-DP2-4	C-DP2-5	C-DP2-6	C-DP2-7	C-DP2-8	C-DP2-9
			幅広い教養を身につけている。	ビジネスの現場において必要不可欠とされる広範な知識や技能を修得している。	流通、およびマーケティングに関する深い知識や優れた技能を身につけている。	国際ビジネスに関する深い知識や優れた技能を身につけている。	会計に関する深い知識や優れた技能を身につけている。	金融に関する深い知識や優れた技能を身につけている。	情報通信技術に関する深い知識や優れた技能を身につけている。	ビジネスと情報との関わりに関する深い知識や優れた技能を身につけている。	修得した専門的な知識や技能を用いて、ビジネスの現場において自ら問題を発見し、それを解決することができる。	ビジネスの現場における問題解決に必要なコミュニケーション能力を身につけている。
原価会計論B C231-240-22	原価会計論A・Bでは、原価の計算について学習します。本講義では主に、標準原価計算や直接原価計算など、経営上の判断の際に有用な原価計算について、その具体的な手法や活用のされ方について学習します。	原価会計論A・Bでの授業および計算問題演習を通じて、原価の種類や計算方法に関する日商簿記検定2級（工業簿記）レベルの知識の習得と、実際にそれらの原価計算ができるようになることを目標とします。					◎					
管理会計論A C331-240-23	管理会計は企業などの組織の管理には必要不可欠な理論と技術ですが、「何を」・「どのように」測定するのが重要となります。管理会計論A・Bではこの観点から管理会計に関する基本的な事項を網羅的に学習します。	本講義では、現代でも多くの組織において用いられている管理会計（いわゆる伝統的管理会計）について、基礎的な知識の習得および、それに関連した基本的な計算手法の仕組みやその目的を理解することを目指します。					◎					
管理会計論B C331-240-24	管理会計は企業などの組織の管理には必要不可欠な理論と技術ですが、「何を」・「どのように」測定するのが重要となります。管理会計論A・Bではこの観点から管理会計に関する基本的な事項を網羅的に学習します。	本講義では主に、1990年代以降に登場した管理会計手法や日本発祥の管理会計手法について、それらの手法が生じた背景や意義、そしてその具体的な仕組みについての知識を習得することを目標とします。					◎					
国際会計論A C331-240-15	第2次大戦後、日本はアメリカ会計を導入したが、東西冷戦終結後は、国際会計基準（IAS）の導入圧力がかかっている。そこで、日本が「IASによる第三の開国」を迫られるという草柳大蔵説を検討する。	会計の世界統一を進める組織（IASBなど）の論理や動向と、日本のこれまでの対応を理解して、今後の日本の選択について見通しを持つ。				○	◎					
国際会計論B C331-240-16	英国のメイ首相や米国のトランプ大統領が登場した背景には、世界に広がる格差の拡大がある。その格差を生み出す一因が慣習的会計にあるとする「格差の会計原因説」と、格差を是正する新しい会計モデルについて学ぶ。	新しい会計モデルの内容と形成過程を理解し、それがアメリカ型の株主資本主義から日本やドイツに根づいていた共益資本主義へのシフトを促すことを理解する。				○	◎					
税務会計論A C331-240-31	現代社会において、税金の果たす役割は大きく、その税金は税法に基づき課されるものです。税務会計論Aでは、税法独自の思考やその思考を反映した会計処理、さらには、課税所得の計算方法の基礎を学びます。	本講義を学ぶことにより、財務会計における利益概念と税務会計における課税所得概念の違いが理解できるようになります。さらに、租税法の基礎理念や体系、様々な益金および損金の考え方を理解できるようになります。					◎					

商学部商学科 カリキュラムマップ			商学部商学科のディプロマポリシー (DP)									
授業科目名 科目ナンバー	授業の概要	授業の到達目標	C-DP1	C-DP2								
			本学建学の精神である「行学一体」、 「報恩感謝」への深い理解、高い倫理観と豊かな人間性	ビジネスに関する専門的能力、およびビジネスの現場をはじめとする協働の場において様々な問題解決を図る能力								
			C-DP1-1	C-DP2-1	C-DP2-2	C-DP2-3	C-DP2-4	C-DP2-5	C-DP2-6	C-DP2-7	C-DP2-8	C-DP2-9
			幅広い教養を身に付けている。	ビジネスの現場において必要不可欠とされる広範な知識や技能を修得している。	流通、およびマーケティングに関する深い知識や優れた技能を身に付けている。	国際ビジネスに関する深い知識や優れた技能を身に付けている。	会計に関する深い知識や優れた技能を身に付けている。	金融に関する深い知識や優れた技能を身に付けている。	情報通信技術に関する深い知識や優れた技能を身に付けている。	ビジネスと情報との関わりに関する深い知識や優れた技能を身に付けている。	修得した専門的な知識や技能を用いて、ビジネスの現場において自ら問題を発見し、それを解決することができる。	ビジネスの現場における問題解決に必要なコミュニケーション能力を身に付けている。
税務会計論B C331-240-32	現代社会において、税金の果たす役割は大きく、その税金は税法に基づき課されるものです。税務会計論Bでは、移転価格税制等、課税所得の計算方法の応用を中心にを学修します。	本講義を学ぶことにより、法人税、所得税、消費税の税額計算、申告、更正の手続きを理解できるようになります。さらに、移転価格税制、タックス・ヘイブン税制、連結納税制度を理解できるようになります。					◎					
会計監査論 C331-240-33	財務諸表の信頼性を保証する会計監査という業務について、①その意義・目的、②会計監査を担当する者（監査人）の資格・要件、③監査実施の手順、④監査の結果の伝達手段を学ぶ講義です。	会計監査を受講することによって次のことができるようになります。 ①財務諸表が信頼できる内容を持つものかどうか、どの程度の信頼性をもっているのかの判断。 ②不正会計が行われた場合、その責任が誰にあるのかについての適切な判断。 ③株式会社の仕組みと、株式会社が成立する要件の理解。 ④公認会計士試験を目指す受講生にとっては、受験のための基礎知識の獲得。					◎					
財務諸表分析 C331-240-18	財務諸表の基本的な見方、収益性や安全性といった企業の経営特性を分析する方法、証券投資等における応用的利用方法について学びます。適宜、実際の財務諸表データを利用して企業特性を分析します。	投資者や債権者といった企業の外部者の視点から、公表財務諸表に基づいて、企業の収益性、安全性、成長性などといった経営特性を分析することや、企業価値を評価することができるようになります。					◎					
銀行論 C231-236-07	標準的な銀行論の考え方を、主として商学部2年次学生向けに編成したものについて修得します。 授業方法(学習指導法)： 講義形式で必要に応じて質疑応答形式も取り入れて学習します。したがって、宿題や予習（教科書や参考文献などの学習）ならびに復習をおこなうことが求められます。 また、概ね毎週レポートを書くことが課されます。	現代経済経営に果たす銀行の役割と活動について、内外の金融・証券市場における企業金融・公的金融・パーソナルファイナンスとの関連にも触れながら諸領域の基礎について、とりわけ主体行動や実務面での基礎的知識を修得し主要事項について説明できるようになるため、ならびに銀行とそれを取り巻く経営環境特に制度・政策を含めた多角的視点から観察し現実の諸問題に対して考察し基礎的事項を修得するために、自ら図書館およびインターネットなどを利用し調査することができるようになることを目標とします。						◎				

商学部商学科 カリキュラムマップ			商学部商学科のディプロマポリシー（DP）									
授業科目名 科目ナンバー	授業の概要	授業の到達目標	C-DP1	C-DP2								
			本学建学の精神である「行学一体」、 「報恩感謝」への深い理解、高い倫理観と豊かな人間性	ビジネスに関する専門的能力、およびビジネスの現場をはじめとする協働の場において様々な問題解決を図る能力								
			C-DP1-1	C-DP2-1	C-DP2-2	C-DP2-3	C-DP2-4	C-DP2-5	C-DP2-6	C-DP2-7	C-DP2-8	C-DP2-9
			幅広い教養を身に付けている。	ビジネスの現場において必要不可欠とされる広範な知識や技能を修得している。	流通、およびマーケティングに関する深い知識や優れた技能を身に付けている。	国際ビジネスに関する深い知識や優れた技能を身に付けている。	会計に関する深い知識や優れた技能を身に付けている。	金融に関する深い知識や優れた技能を身に付けている。	情報通信技術に関する深い知識や優れた技能を身に付けている。	ビジネスと情報との関わりに関する深い知識や優れた技能を身に付けている。	修得した専門的な知識や技能を用いて、ビジネスの現場において自ら問題を発見し、それを解決することができる。	ビジネスの現場における問題解決に必要なコミュニケーション能力を身に付けている。
証券論A C231-236-05	企業金融等をベースに標準的な証券論（主として制度・政策面）の考え方を、主として商学部2年次学生向けに編成したものについて修得します。 授業方法(学習指導法)： 講義形式で必要に応じて質疑応答形式も取り入れて学習します。したがって、宿題や予習（教科書や参考文献などの学習）ならびに復習をおこなうことが求められます。 また、概ね毎週レポートを書くことが課されます。	現代経済経営の証券面（主として制度・政策）における諸領域の基礎について、とりわけ主体行動や市場機構などに関する基礎的知識を修得し主要事項について説明できるようになるため、ならびに証券市場やファイナンスに関する制度・理論・政策にわたる多角的視点から証券市場の動向を観察し現実の諸問題に対して考察し基礎的事項を修得するために、自ら図書館およびインターネットなどを利用し調査することができるようになることを目標とします。						◎				
証券論B C231-236-06	企業金融等をベースに標準的な証券論（理論・政策面）の考え方を、主として商学部2年次学生向けに編成したものについて修得します。 授業方法(学習指導法)： 講義形式で必要に応じて質疑応答形式も取り入れて学習します。したがって、宿題や予習（教科書や参考文献などの学習）ならびに復習をおこなうことが求められます。 また、概ね毎週レポートを書くことが課されます。	現代経済経営の証券面（主として理論・政策）における諸領域の基礎について、とりわけ主体行動や市場機構などに関する基礎的知識を修得し主要事項について説明できるようになるため、ならびに証券市場やファイナンスに関する制度・理論・政策にわたる多角的視点から証券市場の動向を観察し現実の諸問題に対して考察し基礎的事項を修得するために、自ら図書館およびインターネットなどを利用し調査することができるようになることを目標とします。						◎				
生命保険論 C331-236-23	保険論A・Bの基礎を前提に生命保険全般について、消費者の立場から学んでいきます。生命保険は世界にありますが、日本の生命保険は独特な考え方や、それを知らない消費者として不利なことがあります。	2単位科目ですが、これを受講することによって、将来は必ず契約するであろう生命保険について、自ら考えて判断・選択することができるようになることを目標としています。ビジネスの分野でも応用可能になるといいですね。						◎				
損害保険論 C331-236-24	保険論A・Bの知識を前提に損害保険全般について、消費者の立場から学んでいきます。損害保険はとても専門的ですが、世界に通じる考え方を基礎としています。消費者としてもビジネスの世界でも有用です。	損害保険全体に共通する基本的な知識をまず身に付けます。そして火災保険や交通事故と損害賠償について学び、人身事故の賠償責任と日本独特の自賠責保険について理解することを目指します。						◎				

商学部商学科 カリキュラムマップ			商学部商学科のディプロマポリシー（DP）									
授業科目名 科目ナンバー	授業の概要	授業の到達目標	C-DP1	C-DP2								
			本学建学の精神である「行学一体」、 「報恩感謝」への深い理解、高い倫理観と豊かな人間性	ビジネスに関する専門的能力、およびビジネスの現場をはじめとする協働の場において様々な問題解決を図る能力								
			C-DP1-1	C-DP2-1	C-DP2-2	C-DP2-3	C-DP2-4	C-DP2-5	C-DP2-6	C-DP2-7	C-DP2-8	C-DP2-9
			幅広い教養を身につけている。	ビジネスの現場において必要不可欠とされる広範な知識や技能を修得している。	流通、およびマーケティングに関する深い知識や優れた技能を身につけている。	国際ビジネスに関する深い知識や優れた技能を身につけている。	会計に関する深い知識や優れた技能を身につけている。	金融に関する深い知識や優れた技能を身につけている。	情報通信技術に関する深い知識や優れた技能を身につけている。	ビジネスと情報との関わりに関する深い知識や優れた技能を身につけている。	修得した専門的な知識や技能を用いて、ビジネスの現場において自ら問題を発見し、それを解決することができる。	ビジネスの現場における問題解決に必要なコミュニケーション能力を身につけている。
国際金融論 A C331-236-03	本講義では、国際ビジネスに関するプロフェッショナルな専門知識のうち、主としてグローバルファイナンスの理論的側面（i.e. 開放マクロ経済学、国際マクロ経済学）を中心としてさらに現実の動きと対応付けて学びます。	本講義を学ぶことにより、日々マーケットで展開されるさまざまな問題点を論理的・整合的に捉えることが可能となります。ビジネス・パーソンとしての視野は広がり、実際のビジネスで活躍できる場が増えます。				○		◎				
国際金融論 B C331-236-04	本講義では、国際通貨金融資本市場で日々起こる出来事の背後にある制度的・政策的要因を歴史の流れに沿って取り上げます。こうした知識は、正確な判断と的確な意思決定とが要求されるビジネスに不可欠と言えます。	本講義内容を学ぶことにより、錯綜した日常ビジネスに対してその背景を理解し、客観的な観点から戦略を打ち立て、課題を解決することに役立ちます。それによってビジネスの展開がいっそう広がります。				○		◎				
ビジネス・ファイナンス論 C331-236-11	企業経営において財務（ファイナンス）の思考を欠かすことはできません。本講義では、企業に関する財務、すなわちコーポレート・ファイナンスの理論と実践を学習します。	コーポレート・ファイナンスにおいて必須とされる資金調達、資金運用、およびペイアウトに関して理解し、実践力を体得できる。						◎				
コンピュータシステム論 C231-601-12	本講義では、コンピュータ内部で扱われる情報表現について学び、さらにコンピュータを構成するハードウェア、システムソフトウェアなどの概要について学ぶ。	コンピュータシステム（基礎理論・コンピュータ構成要素・システム構成要素・ソフトウェア）についてのそれぞれの理論や動作について説明できる。							◎	◎		
情報ネットワーク論 C331-606-11	電子取引やクラウドによる情報共有などの情報ネットワークの仕組み、管理、活用に関する基本的な知識および技術を、設置者と利用者の両面から学ぶ。通信ネットワークの基礎技術、セキュリティ対策、コミュニケーション、情報活用技術等を学習し、各種の情報技術者試験に対応する内容も学ぶ。	情報ネットワークの基本的仕組みと技術を理解し、自らがネットワークへの接続やセキュリティ管理の設定ができること、また、ネットワークの利用者として情報倫理が身につくことを目標にする。							◎	◎		
情報セキュリティ C331-607-42	「場当たりの」な情報セキュリティ対策ではなく、複合的なトータル・セキュリティのマネジメントの知識を深める。	近年の情報セキュリティをめぐる様々な問題状況を把握し、その対策や被害を防止する知識を修得する。							◎	◎		

商学部商学科 カリキュラムマップ			商学部商学科のディプロマポリシー（DP）									
授業科目名 科目ナンバー	授業の概要	授業の到達目標	C-DP1	C-DP2								
			本学建学の精神である「行学一体」、 「報恩感謝」への深い理解、高い倫理観と豊かな人間性	ビジネスに関する専門的能力、およびビジネスの現場をはじめとする協働の場において様々な問題解決を図る能力								
			C-DP1-1	C-DP2-1	C-DP2-2	C-DP2-3	C-DP2-4	C-DP2-5	C-DP2-6	C-DP2-7	C-DP2-8	C-DP2-9
			幅広い教養を身に付けている。	ビジネスの現場において必要不可欠とされる広範な知識や技能を修得している。	流通、およびマーケティングに関する深い知識や優れた技能を身に付けている。	国際ビジネスに関する深い知識や優れた技能を身に付けている。	会計に関する深い知識や優れた技能を身に付けている。	金融に関する深い知識や優れた技能を身に付けている。	情報通信技術に関する深い知識や優れた技能を身に付けている。	ビジネスと情報との関わりに関する深い知識や優れた技能を身に付けている。	修得した専門的な知識や技能を用いて、ビジネスの現場において自ら問題を発見し、それを解決することができる。	ビジネスの現場における問題解決に必要なコミュニケーション能力を身に付けている。
データ構造とアルゴリズム C231-601-26	各種のデータ構造（コンピュータ上での記録形式）について理解したうえで、登録、削除、整列などのアルゴリズム（処理の流れ、手順のこと）を説明する。処理説明は流れ図や擬似言語プログラムを使用する。	基本的には配列を使った繰返し処理ができることである。応用的にはデータ構造に応じた保存と検索、および整列することができるようにする。データ構造は、階層構造、チェーン構造やツリー構造がある。							◎	◎		
ソフトウェア開発論 C331-605-11	本講義では、コンピュータのソフトウェアを含むシステム開発の概念について学び、ソフトウェア開発の手順、システムの運用と保守などについて学ぶ。	ソフトウェア開発（システム開発技術・ソフトウェア開発管理技術）についてのそれぞれの理論や工程について説明できる。							◎	◎		
Web デザイン C231-901-22	Web ページの基礎を学び、ホームページの作成を通して、情報の発信者および受信者それぞれの観点から商学としての情報伝達の表現方法を実習を通じて考える。	Web ページの基本を学び、実際にHTMLおよびCSSでWeb ページを作成する。ネットショップを想定し、オリジナルのWeb ページを作成する。							◎	◎		
マルチメディア論 C231-611-43	人間（利用者）の感覚および知覚を学び、コンピュータによる情報処理、周辺機器や設備、環境などマルチメディア技術の基礎を学び、情報伝達の方法を考え、商学と関連付けて応用技術を創造する。	マルチメディアに関する基礎を習得する。CG-ARTS協会が主催するマルチメディア検定（エキスパート）合格するレベル。							◎	◎		
コンピュータグラフィックス C331-611-41	コンテンツ制作に必要なコンピュータグラフィックスの基礎技術を学び、写真の加工や図形の描画、ポスター作成など、実習を通じて考える。	写真の加工や修正を行い、文字やイラストを装飾して、オリジナル作品が制作できるようにする。							◎	◎		
先端情報システム論 C331-613-11	本講義では、IoTや人工知能のほか、クラウドコンピューティングや組込みシステムなど最新の情報技術を学び、実際の生活やビジネスでの活用について具体例を挙げながら説明する。	IoTの基盤技術（センサ、クラウド、人工知能）や組込み技術の概要、および活用例（自動車、家電製品、医療機器、産業機器など）について説明や考察ができる。							◎	◎		
データベースⅠ C331-608-33	データベースの仕組みを理解し、データベースソフト(Access)の使用方法について学ぶ。小規模なデータベースの構築・管理・運用をできるようになることをねらいとする。	データベースシステムの基本概念と役割を説明できる。Accessを用いてデータベースを作成・運用できる。							◎	◎		
データベースⅡ C331-608-34	データベースにおける処理の自動化を目的とし、AccessのマクロおよびVBAの作成方法や編集方法について学ぶ。	Accessにおいて、マクロおよびVBAについてその仕組みを理解し、作成できるようにする。							◎	◎		

商学部商学科 カリキュラムマップ			商学部商学科のディプロマポリシー（DP）									
授業科目名 科目ナンバー	授業の概要	授業の到達目標	C-DP1	C-DP2								
			本学建学の精神である「行学一体」、 「報恩感謝」への深い理解、高い倫理観と豊かな人間性	ビジネスに関する専門的能力、およびビジネスの現場をはじめとする協働の場において様々な問題解決を図る能力								
			C-DP1-1	C-DP2-1	C-DP2-2	C-DP2-3	C-DP2-4	C-DP2-5	C-DP2-6	C-DP2-7	C-DP2-8	C-DP2-9
			幅広い教養を身につけている。	ビジネスの現場において必要不可欠とされる広範な知識や技能を修得している。	流通、およびマーケティングに関する深い知識や優れた技能を身につけている。	国際ビジネスに関する深い知識や優れた技能を身につけている。	会計に関する深い知識や優れた技能を身につけている。	金融に関する深い知識や優れた技能を身につけている。	情報通信技術に関する深い知識や優れた技能を身につけている。	ビジネスと情報との関わりに関する深い知識や優れた技能を身につけている。	修得した専門的な知識や技能を用いて、ビジネスの現場において自ら問題を発見し、それを解決することができる。	ビジネスの現場における問題解決に必要なコミュニケーション能力を身につけている。
プログラミング入門 C231-605-21	本講義では、Javaを用いたプログラミングの基本的な考え方を学ぶ。具体的には、プログラミングの概念、Javaの基本構造、変数の扱い方、条件判断、繰り返し処理などについて、演習を通じて理解する。	毎回の授業時に行う演習問題に対応したプログラムが自分で作成できる。 作成したプログラムから実行結果が導ける。							◎	◎		
プログラミングⅠ C231-605-22	本講義では、プログラミング入門で学んだJavaの基本的な考え方をもとに、Javaが持つ特徴の1つであるオブジェクト指向プログラミングについて学ぶ。	毎回の授業時に行う演習問題に対応したプログラムが自分で作成できる。 作成したプログラムから実行結果が導ける。							◎	◎		
プログラミングⅡ C331-605-23	本講義では、Javaの文法とプログラムのアルゴリズムについて学び、比較的複雑なプログラムを作成したり、作成済みのプログラムを解析したりするためのテクニックを学ぶ。	毎回の授業時に作成するプログラムから実行結果を導ける。 プログラムの動作説明ができる。							◎	◎		
プログラミングⅢ C331-605-24	本講義では、Javaを用いたGUIプログラミングの基本的な考え方や、ブラウザで動作するJavaアプレットの作成方法について学ぶ。また、グラフィックを活用した簡単なゲームの作成も行う。	毎回の授業時に作成するプログラムから実行結果を導ける。 プログラムの動作説明ができる。							◎	◎		
情報産業論 C231-902-02	企業でどのようにITが活用されているのか、どのような人材が求められているのかについて理解できるようになる。	情報産業論では、私たちの住む社会の中でどのように産業が情報によって支えられているのかについて言及していきます。							◎	◎		
商学特論Ⅰ C131-239-71	本講義では、日商簿記検定2級の学習をひと通り終えた学生を対象として、試験対策問題を繰り返し解くことで、日商簿記検定2級の合格に必要な基礎力および応用力を養います。	日商簿記検定2級の合格レベルに達する。					◎					
商学特論Ⅱ (商業施設とデザイン) C231-239-72	商業、および商業施設の目的とつくりかたを学ぶ。さらに、商業施設、立地、客層と心理、造形と感覚、商品・サービス（MD）空間、設備、家具・什器等、ディスプレイ、サインを含めて、そのデザイン手法を学ぶとともに技法を習得する。	商業施設の目的とつくりかたを理解できるようになる。また、商業施設士補の資格に向けた必要単位を取得することができる。		◎	◎						○	

商学部商学科 カリキュラムマップ			商学部商学科のディプロマポリシー（DP）									
授業科目名 科目ナンバー	授業の概要	授業の到達目標	C-DP1	C-DP2								
			本学建学の精神である「行学一体」、 「報恩感謝」への深い理解、高い倫理観と豊かな人間性	ビジネスに関する専門的能力、およびビジネスの現場をはじめとする協働の場において様々な問題解決を図る能力								
			C-DP1-1	C-DP2-1	C-DP2-2	C-DP2-3	C-DP2-4	C-DP2-5	C-DP2-6	C-DP2-7	C-DP2-8	C-DP2-9
			幅広い教養を身につけている。	ビジネスの現場において必要不可欠とされる広範な知識や技能を修得している。	流通、およびマーケティングに関する深い知識や優れた技能を身につけている。	国際ビジネスに関する深い知識や優れた技能を身につけている。	会計に関する深い知識や優れた技能を身につけている。	金融に関する深い知識や優れた技能を身につけている。	情報通信技術に関する深い知識や優れた技能を身につけている。	ビジネスと情報との関わりに関する深い知識や優れた技能を身につけている。	修得した専門的な知識や技能を用いて、ビジネスの現場において自ら問題を発見し、それを解決することができる。	ビジネスの現場における問題解決に必要なコミュニケーション能力を身につけている。
商学特論Ⅲ （野村證券提供講座） C231-239-73	本講座では、商学部2年生に向けて実務経験が豊富な野村證券のスタッフにより資本市場の基礎概念と投資の考え方など証券市場・証券経済に関する講義をおこなうことにより、商学特論として標準的な証券及び証券市場の応用レベルの考え方や知識を修得することをねらいとします。	資産運用に関する基礎知識を理解するとともに、自己責任時代に必要な投資の心構えを身に付けて現実の諸問題に対して考察し基礎的事項を修得するために、自ら図書館およびインターネットなどを利用し調査して取りまとめることができるようになることを目標とします。		◎				◎			○	
商学特論Ⅳ （消費者問題と政策） C231-239-74	消費者と事業者との間には情報の質・量や交渉力の格差等があり、これに起因して消費者に被害が発生することがあり、消費者は自らの利益の擁護・増進のために、自主的かつ合理的に行動することができるよう自立する必要がある。そこでこの講義では、自立した消費者として安心して安全で豊かな消費生活を営むための知識を学び、これを適切な行動に結び付けることができる実践的な能力を育成する。	・安心して安全で豊かな消費生活を営むための知識を身につける。 ・上記知識を行動に結びつける能力を身につける。		◎	○						○	
商学特論Ⅴ （リテールマーケティング（販売士）検定試験2級対策講座1） C131-239-75	本講義ではリテールマーケティング（販売士）検定試験2級の合格を目指し、小売業の種類、マーケティングおよび販売・経営管理の各項目を学びます。各項目の解説と試験対策問題の解答を合わせて行うことにより、合格に必要な基礎力および応用力を養います（商学特論Ⅸとセットの授業となります）。	リテールマーケティング（販売士）検定試験2級に合格することができる。			◎							
商学特論Ⅵ （まちづくりと商業施設） C231-239-76	商業および商業施設の目的を理解し、まちづくりを考えたデザイン・プロデュース手法を学ぶ。商業施設とまちづくりに関する企画とプロデュースの技法を学ぶ。テキスト、作品やビジネスの事例、参考文献を用いて学習、研究を行う。	商業施設の目的を理解し、デザイン、プロデュースに向けた視点を身につけることができる。また、商業施設士補の資格に必要な単位を取得することができる。		◎	◎						○	
商学特論Ⅶ C231-239-77	さまざまな課題を抱える日本だが、第二次世界大戦後の廃墟の中から甦ってきた歴史がある。それはどうして可能になったのか。東西冷戦という現代史の中で、今後に生かすヒントを得る。	日本と世界の現状を自力で把握し、今後の自らの対応を自分で考えることができる能力を身につける。		◎							○	

商学部商学科 カリキュラムマップ			商学部商学科のディプロマポリシー（DP）									
授業科目名 科目ナンバー	授業の概要	授業の到達目標	C-DP1	C-DP2								
			本学建学の精神である「行学一体」、 「報恩感謝」への深い理解、高い倫理観と豊かな人間性	ビジネスに関する専門的能力、およびビジネスの現場をはじめとする協働の場において様々な問題解決を図る能力								
			C-DP1-1	C-DP2-1	C-DP2-2	C-DP2-3	C-DP2-4	C-DP2-5	C-DP2-6	C-DP2-7	C-DP2-8	C-DP2-9
			幅広い教養を身につけている。	ビジネスの現場において必要不可欠とされる広範な知識や技能を修得している。	流通、およびマーケティングに関する深い知識や優れた技能を身につけている。	国際ビジネスに関する深い知識や優れた技能を身につけている。	会計に関する深い知識や優れた技能を身につけている。	金融に関する深い知識や優れた技能を身につけている。	情報通信技術に関する深い知識や優れた技能を身につけている。	ビジネスと情報との関わりに関する深い知識や優れた技能を身につけている。	修得した専門的な知識や技能を用いて、ビジネスの現場において自ら問題を発見し、それを解決することができる。	ビジネスの現場における問題解決に必要なコミュニケーション能力を身につけている。
商学特論Ⅶ C231-239-78	政治（行政）は社会のあらゆる分野と深いかわりを持つ。政治の実態を知ること、地域社会や経済の課題を理解するうえでとても重要となる。知事・市長の経験から等身大の政治（行政）の姿を伝えたい。	多面的なものの見方やその背後にある真実を見抜く力を養ってほしい。政治に関心のある学生を大いに歓迎する。		◎							○	
商学特論Ⅸ （リテールマーケティング（販売士）検定試験2級（販売士）検定試験2級対策講座2） C131-239-79	本講義ではリテールマーケティング（販売士）検定試験2級の合格を目指し、小売業の種類、マーケティングおよび販売・経営管理の各項目を学びます。各項目の解説と試験対策問題の解答を合わせて行うことにより、合格に必要な基礎力および応用力を養います（商学特論Ⅴとセットの授業となります）。	リテールマーケティング（販売士）検定試験2級に合格することができる。			◎							
商学特論Ⅹ （豊田信用金庫提供講座） C231-239-70	金融自由化やグローバル化の中で、地域経済社会では少子高齢化の進展やICT・AI等の産業構造の変化などが観察されており、企業がどのような経営を行っているのかを実例を通して学ぶ。	地域での生活や産業の活動に密接に関係する金融および金融機関の果たす役割を理解する。		◎							○	
経営者講座 C331-238-71	担当講師は、愛知学院大学商学部を卒業し、企業経営の第一線で責任ある立場で活躍している方を毎週講師として招き、長年にわたって蓄積された豊富な経験に基づいて、経営論や人生論を講義していただく。	様々なビジネスの分野における、最新の実践を理解する。自分が経営者になった場合の経営や管理について、具体的にイメージできるようになる。									○	
資格取得講座Ⅰ C131-844-01	ビジネスに活用することができる商学に関連する資格を取得し、その過程でビジネスに関する知識を獲得する。	ビジネスに活用することができる商学に関連する資格に合格する。		◎							○	
資格取得講座Ⅱ C131-844-02	ビジネスに活用することができる商学に関連する資格を取得し、その過程でビジネスに関する知識を獲得する。	ビジネスに活用することができる商学に関連する資格に合格する。		◎							○	
資格取得講座Ⅲ C131-844-03	ビジネスに活用することができる商学に関連する資格を取得し、その過程でビジネスに関する知識を獲得する。	ビジネスに活用することができる商学に関連する資格に合格する。		◎							○	

商学部商学科 カリキュラムマップ			商学部商学科のディプロマポリシー（DP）									
授業科目名 科目ナンバー	授業の概要	授業の到達目標	C-DP1	C-DP2								
			本学建学の精神である「行学一体」、 「報恩感謝」への深い理解、高い倫理観と豊かな人間性	ビジネスに関する専門的能力、およびビジネスの現場をはじめとする協働の場において様々な問題解決を図る能力								
			C-DP1-1	C-DP2-1	C-DP2-2	C-DP2-3	C-DP2-4	C-DP2-5	C-DP2-6	C-DP2-7	C-DP2-8	C-DP2-9
			幅広い教養を身につけている。	ビジネスの現場において必要不可欠とされる広範な知識や技能を修得している。	流通、およびマーケティングに関する深い知識や優れた技能を身につけている。	国際ビジネスに関する深い知識や優れた技能を身につけている。	会計に関する深い知識や優れた技能を身につけている。	金融に関する深い知識や優れた技能を身につけている。	情報通信技術に関する深い知識や優れた技能を身につけている。	ビジネスと情報との関わりに関する深い知識や優れた技能を身につけている。	修得した専門的な知識や技能を用いて、ビジネスの現場において自ら問題を発見し、それを解決することができる。	ビジネスの現場における問題解決に必要なコミュニケーション能力を身につけている。
資格取得講座Ⅳ C131-844-04	ビジネスに活用することができる商学に関連する資格を取得し、その過程でビジネスに関する知識を獲得する。	ビジネスに活用することができる商学に関連する資格に合格する。		◎							○	
ビジネス英語Ⅰ A C331-143-01	多くの企業が採用している英語力試験であるTOEICに慣れて得点を伸ばすことをねらいにしています。25以上のユニット学習（リーディング、リスニング、TOEIC問題）と単語力養成教材を学習します。	TOEICで規定されているビジネス英語力の内、リスニングとリーディングを向上させるための授業です。パソコンの自学学習が中心です。パソコンによる自学自習が得意でない人や自分で到達目標を設定できない人にはお奨めしませんので、十分に考えてから履修してください。	○	△		◎						◎
ビジネス英語Ⅰ B C331-143-02	多くの企業が採用している英語力試験であるTOEICに慣れて得点を伸ばすことをねらいにしています。25以上のユニット学習（リーディング、リスニング、TOEIC問題）と単語力養成教材を学習します。	TOEICで規定されているビジネス英語力の内、リスニングとリーディングを向上させるための授業です。パソコンの自学学習が中心です。パソコンによる自学自習が得意でない人や自分で到達目標を設定できない人にはお奨めしませんので、十分に考えてから履修してください。	○	△		◎						◎
ビジネス英語Ⅱ A C331-143-03	多くの企業が採用している英語力試験であるTOEICに慣れて得点を伸ばすことをねらいにしています。25以上のユニット学習（リーディング、リスニング、TOEIC問題）と単語力養成教材を学習します。上級クラスです。	TOEICで規定されているビジネス英語力の内、リスニングとリーディングを向上させるための授業です。パソコンの自学学習が中心です。パソコンによる自学自習が得意でない人や自分で到達目標を設定できない人にはお奨めしませんので、十分に考えてから履修してください。	○	△		◎						◎
ビジネス英語Ⅱ B C331-143-04	多くの企業が採用している英語力試験であるTOEICに慣れて得点を伸ばすことをねらいにしています。25以上のユニット学習（リーディング、リスニング、TOEIC問題）と単語力養成教材を学習します。上級クラスです。	TOEICで規定されているビジネス英語力の内、リスニングとリーディングを向上させるための授業です。パソコンの自学学習が中心です。パソコンによる自学自習が得意でない人や自分で到達目標を設定できない人にはお奨めしませんので、十分に考えてから履修してください。	○	△		◎						◎

商学部商学科 カリキュラムマップ			商学部商学科のディプロマポリシー（DP）									
授業科目名 科目ナンバー	授業の概要	授業の到達目標	C-DP1	C-DP2								
			本学建学の精神である「行学一体」、 「報恩感謝」への深い理解、高い倫理観と豊かな人間性	ビジネスに関する専門的能力、およびビジネスの現場をはじめとする協働の場において様々な問題解決を図る能力								
			C-DP1-1	C-DP2-1	C-DP2-2	C-DP2-3	C-DP2-4	C-DP2-5	C-DP2-6	C-DP2-7	C-DP2-8	C-DP2-9
			幅広い教養を身につけている。	ビジネスの現場において必要不可欠とされる広範な知識や技能を修得している。	流通、およびマーケティングに関する深い知識や優れた技能を身につけている。	国際ビジネスに関する深い知識や優れた技能を身につけている。	会計に関する深い知識や優れた技能を身につけている。	金融に関する深い知識や優れた技能を身につけている。	情報通信技術に関する深い知識や優れた技能を身につけている。	ビジネスと情報との関わりに関する深い知識や優れた技能を身につけている。	修得した専門的な知識や技能を用いて、ビジネスの現場において自ら問題を発見し、それを解決することができる。	ビジネスの現場における問題解決に必要なコミュニケーション能力を身につけている。
英書講読A C331-843-01	近年、ビジネスのグローバル化にともない、英文のビジネス文書（企画書、報告書、契約書等）を読む機会が増大しており、その基礎となる英文読解力がますます重要になってきている。 この授業では、構文を捉える能力（正しい文法知識を持ち、それを適用する能力）」を重点的に養う。 また、ビジネス文書で頻繁に使用される語彙を習得するために、多くの企業が採用している英語力試験であるTOEICに準拠した英文を素材として使用する。	具体的な到達目標は次のとおりである。 ・ビジネス文書で用いられる英文を読解するための基礎的な能力を養う。 ・TOEIC L&Rスコア500点以上を取得するために必要な英文法の知識を身につける。 ・TOEIC L&Rスコア500点以上を取得するために必要な語彙を身につける。	○	△		◎						◎
英書講読B C331-843-02	近年、ビジネスのグローバル化にともない、英文のビジネス文書（企画書、報告書、契約書等）を読む機会が増大しており、その基礎となる英文読解力がますます重要になってきている。 この授業では、構文を捉える能力（正しい文法知識を持ち、それを適用する能力）」を重点的に養う。 また、ビジネス文書で頻繁に使用される語彙を習得するために、多くの企業が採用している英語力試験であるTOEICに準拠した英文を素材として使用する。	具体的な到達目標は次のとおりである。 ・ビジネス文書で用いられる英文を読解するための基礎的な能力を養う。 ・TOEIC L&Rスコア500点以上を取得するために必要な英文法の知識を身につける。 ・TOEIC L&Rスコア500点以上を取得するために必要な語彙を身につける。	○	△		◎						◎
貿易英語 C331-143-06	現代の貿易においても文書主義に基づき取引が進められている。この授業では、貿易取引の流れに沿って、取引当事者間で交わされるビジネス文書を素材として、そこに書かれた英語を学習する。まずは読む力を養い、次いで書く力を養う。	貿易取引の流れに沿ってそれぞれの場面で典型的に見られる専門用語や英文レターにおける慣用的な表現を理解し、実際の手紙に応用できる。将来こうした分野に進もうと考えている者にとって、英語を読む力と書く力を高めることができる。	○	△		◎						◎
Business Conversation A C331-141-01	現在の英語力を利用して、将来使えるような力をつける。英語を話すとき、リラックスして話せるようにする。単語の数を増やす。	The overall objective of this course is to improve student's conversational ability.	○	△		◎						◎

商学部商学科 カリキュラムマップ			商学部商学科のディプロマポリシー (DP)									
授業科目名 科目ナンバー	授業の概要	授業の到達目標	C-DP1	C-DP2								
			本学建学の精神である「行学一体」、 「報恩感謝」への深い理解、高い倫理観と豊かな人間性	ビジネスに関する専門的能力、およびビジネスの現場をはじめとする協働の場において様々な問題解決を図る能力								
			C-DP1-1	C-DP2-1	C-DP2-2	C-DP2-3	C-DP2-4	C-DP2-5	C-DP2-6	C-DP2-7	C-DP2-8	C-DP2-9
			幅広い教養を身につけている。	ビジネスの現場において必要不可欠とされる広範な知識や技能を修得している。	流通、およびマーケティングに関する深い知識や優れた技能を身につけている。	国際ビジネスに関する深い知識や優れた技能を身につけている。	会計に関する深い知識や優れた技能を身につけている。	金融に関する深い知識や優れた技能を身につけている。	情報通信技術に関する深い知識や優れた技能を身につけている。	ビジネスと情報との関わりに関する深い知識や優れた技能を身につけている。	修得した専門的な知識や技能を用いて、ビジネスの現場において自ら問題を発見し、それを解決することができる。	ビジネスの現場における問題解決に必要なコミュニケーション能力を身につけている。
Business Conversation B C331-141-02	現在の英語力を利用して、将来使えるような力をつける。英語を話すとき、リラックスして話せるようにする。単語の数を増やす。	The overall objective of this course is to improve student's conversational ability.	○	△		◎						◎
日本経済論 A/B C331-234-01 C331-234-02	先進国の中でも最も速く進む少子高齢化が今後の日本経済に与える影響や、世界経済の中における日本経済についての理解を深める。	少子高齢化がに経済成長と財政・社会保障問題に与える影響や、貿易や直接投資が日本経済に与える影響についての議論を理解できるようになる。		◎							○	
財政学 A/B C331-235-01 C331-235-02	国の歳出・歳入構造及び予算制度を学んだ上で、財政赤字問題、税制改革及び社会保障財政を検討する。最終的には高齢社会における財政健全化及び持続可能な財政運営について理解を深めたい。	国の財政制度を体系的に理解できるとともに、財政赤字の要因とその解消、高齢社会を乗り切るための「税・社会保障の一体改革」について、自らの政策論を展開できる能力を培う。		◎							○	
イノベーション論 C331-238-05	企業の活動が引き起こす変化が社会の変化へと広がるイノベーションの姿を学びます。イノベーションは技術変化だけでなく、人々の行動の変化や社会現象の名称にも関係しますので、イノベーションの進展に果たすモノ・コト・ことばの役割を学びます。	イノベーションの全体像を知ることで、企業活動の中で新たな活動を企画し、提案し、実行していくための基本的な考え方を身につけることができます。また、小さな変化が社会の変化につながる経路について分析できるようになります。		◎							○	
ベンチャー・ビジネス論 C331-238-06	本講義は、ベンチャー経営者または管理者としての経営資源のマネジメント能力を涵養することに重きを置き、ベンチャービジネスに関わる考え方を体系的に理解すること、特にイノベーションを起こす企業を理論的に理解することを目的とする。	体系的な理論学習を踏まえ、ケース検討の過程では、個人分析→ペア分析→クラス全体分析のステップを踏み、多様な考え方があることを知る。学生は、これらのワークショップを通じ、状況に応じた柔軟な事業構想力と戦略策定力の獲得を目標とする。		◎							○	
ロジスティクス論 C331-239-02	原材料の調達、部品・製品の出荷にかかわる物流サービスを扱います。近年、通販の売上が伸びており、物流量は増加しています。ロジスティクス論では物流サービスと競争優位について学びます。	近年、物流のグローバル化と配送の高速化が話題になっています。ロジスティクスは原材料を製品にしてお客様に届けるのに、どんな問題解決をしているのかを、ケーススタディーから把握することを目標とします。		◎							○	

商学部商学科 カリキュラムマップ			商学部商学科のディプロマポリシー（DP）									
授業科目名 科目ナンバー	授業の概要	授業の到達目標	C-DP1	C-DP2								
			本学建学の精神である「行学一体」、 「報恩感謝」への深い理解、高い倫理観と豊かな人間性	ビジネスに関する専門的能力、およびビジネスの現場をはじめとする協働の場において様々な問題解決を図る能力								
			C-DP1-1	C-DP2-1	C-DP2-2	C-DP2-3	C-DP2-4	C-DP2-5	C-DP2-6	C-DP2-7	C-DP2-8	C-DP2-9
			幅広い教養を身につけている。	ビジネスの現場において必要不可欠とされる広範な知識や技能を修得している。	流通、およびマーケティングに関する深い知識や優れた技能を身につけている。	国際ビジネスに関する深い知識や優れた技能を身につけている。	会計に関する深い知識や優れた技能を身につけている。	金融に関する深い知識や優れた技能を身につけている。	情報通信技術に関する深い知識や優れた技能を身につけている。	ビジネスと情報との関わりに関する深い知識や優れた技能を身につけている。	修得した専門的な知識や技能を用いて、ビジネスの現場において自ら問題を発見し、それを解決することができる。	ビジネスの現場における問題解決に必要なコミュニケーション能力を身につけている。
中小企業経営論 C331-238-21	日本の企業のなかで中小企業は99%を占めています。もともと経営学という学問は主に大企業を対象として形づくられていますが、経営学部で学ぶからには99%という中小企業にも関心を寄せてほしいと思います。本講義では、中小企業およびその経営・戦略について、正しく理解することを狙いとしています。	経営学部の他の授業ではまとまって学ぶ機会のない中小企業を対象としているため、中小企業概念規定から始めて、中小企業の存立形態、経営・戦略上の特徴、経営者の役割について学習します。そうした学習を通じて、大企業と中小企業との違いについて具体的に明確な説明ができるようにします。		◎							○	
中部経済論 C231-234-80	〔財務省東海財務局の提携講座〕 財務本省及び東海財務局などの現役財務省職員が講師として登壇し、財務省・金融庁の視点から「財政」「税制」「金融」等について講義が展開される。	財政、金融及び経済等に関する実践的な知識を身につける。		◎							○	
公共経営論 C231-238-80 2020年度以降入学生は開講せず	本年度開講せず											
地域ビジネス論 C231-239-80	本講義のテーマは、商業を中心に地域に根差したビジネスの活性化策を模索することです。停滞または衰退地域のビジネス（商業集積、商店）の活性化およびまちづくりを進めるための理論的枠組みと実践的手法を学びます。	地域ビジネス活性化はまちづくりと関連することから、履修者が、地域資源調査、街区調査、立地分析、都市計画、生活者行動調査等々の手法により問題を分析し、地域ビジネス活性化とまちづくりの提言ができる能力を身につけることができます。		◎							○	
エリア・リサーチⅠ C231-234-81	地域経済の振興を担うシンクタンク（政策研究機関）である中部圏社会経済研究所と連携し、地域経済を分析するために必要な知識や事例等を学ぶ。	地域経済に関する知識、経済分析手法の把握する素養、それらを駆使して地域経済に対する提案を行う力、さらにフィールドワークを行うことで協働の実践力が身につく。		◎							○	
エリア・リサーチⅡ C231-239-81	この講義では、中部地域に立地する企業の事例研究を行います。この事例研究は、我が国の中でも製造業が集積する地域のひとつである中部地域の製品戦略を組織間関係の視点で学習することにあります。	この講義では、製品化、組織間関係、ブランド戦略を中心に、中部地区における企業の事例研究を通して企業の優位性と課題を見出す力を養っていきます。そのためには、マーケティング関連科目の理解も深めていきます。		◎							○	

商学部商学科 カリキュラムマップ			商学部商学科のディプロマポリシー (DP)									
授業科目名 科目ナンバー	授業の概要	授業の到達目標	C-DP1	C-DP2								
			本学建学の精神である「行学一体」、 「報恩感謝」への深い理解、高い倫理観と豊かな人間性	ビジネスに関する専門的能力、およびビジネスの現場をはじめとする協働の場において様々な問題解決を図る能力								
			C-DP1-1	C-DP2-1	C-DP2-2	C-DP2-3	C-DP2-4	C-DP2-5	C-DP2-6	C-DP2-7	C-DP2-8	C-DP2-9
			幅広い教養を身につけている。	ビジネスの現場において必要不可欠とされる広範な知識や技能を修得している。	流通、およびマーケティングに関する深い知識や優れた技能を身につけている。	国際ビジネスに関する深い知識や優れた技能を身につけている。	会計に関する深い知識や優れた技能を身につけている。	金融に関する深い知識や優れた技能を身につけている。	情報通信技術に関する深い知識や優れた技能を身につけている。	ビジネスと情報との関わりに関する深い知識や優れた技能を身につけている。	修得した専門的な知識や技能を用いて、ビジネスの現場において自ら問題を発見し、それを解決することができる。	ビジネスの現場における問題解決に必要なコミュニケーション能力を身につけている。
エリア・リサーチⅢ C231-238-81	ソーシャルビジネスに関するプロジェクトへの参画を通じ、実践的な学びを行う。グループ単位の活動がメインとなり、集団での成果実現に関する感覚も磨かれる。自らの能力を理解し、それらを伸ばすための更なる学習につなげていく。	(1) 成果の達成、(2) 成果達成に関連する個と集団との関係、学外者との関係維持、プロジェクトの厳しさや楽しさなどを実践を通じて生きた言葉で表現できるようになることが目標である。		◎							○	
企業と法 C231-166-82	本講義では、会社についての法的な概念について学んだ上で、会社法の内容の中核である株式会社をめぐる法規制の基礎を学ぶ。	会社の役員が会社の運営を行う上で遵守しなければならない規範の基礎を理解することができる。また、法的視点から見た株式会社のあり様についての知識が身につく。		◎							○	
総合民法 C231-216-81	民法の中で、財産の帰属や取引に関わる財産法について学ぶ。財産法の基礎にあたる民法総則、物の帰属や移転に関わる物権法、契約や貸金の回収に関わる債権法の中から、経済活動にとって特に重要な項目について学習する。	民法についての大まかな知識を獲得することができる。問題が生じた際に、その問題を解決するための考え方を身につけることができる。		◎							○	
租税法A (基礎) C231-212-81	本講義では、最近の租税に関する事例を題材として、租税法の基本原則、税金の種類と計算方法、申告と納税、税務調査と不服申立てなど基本的事項を修得する。	租税法の基礎知識を修得することができる。これにより、経済取引における予測可能性を確保するための税務の知識を養うことができる。		◎							○	
応用商学Ⅰ (ビジネス情報) C332-842-11	新聞、雑誌、書籍、ウェブサイト等、一般に公表されている情報をもとにビジネスに関連する様々な事項を調査・分析し、それを発表する方法を学ぶ。	将来必要となるビジネスに関連する様々な事項を調査・分析し、それを発表する方法を身につけることを目標とする。		○					◎	◎	◎	◎
応用商学Ⅱ (流通・マーケティング) C332-842-12	新聞、雑誌、書籍、ウェブサイト等、一般に公表されている情報をもとにビジネスに関連する様々な事項を調査・分析し、それを発表する方法を学ぶ。	将来必要となるビジネスに関連する様々な事項を調査・分析し、それを発表する方法を身につけることを目標とする。		○		◎					◎	◎
応用商学Ⅲ (会計・金融) C332-842-13	新聞、雑誌、書籍、ウェブサイト等、一般に公表されている情報をもとにビジネスに関連する様々な事項を調査・分析し、それを発表する方法を学ぶ。	将来必要となるビジネスに関連する様々な事項を調査・分析し、それを発表する方法を身につけることを目標とする。		○			◎				◎	◎

商学部商学科 カリキュラムマップ			商学部商学科のディプロマポリシー（DP）									
授業科目名 科目ナンバー	授業の概要	授業の到達目標	C-DP1	C-DP2								
			本学建学の精神である「行学一体」、 「報恩感謝」への深い理解、高い倫理観と豊かな人間性	ビジネスに関する専門的能力、およびビジネスの現場をはじめとする協働の場において様々な問題解決を図る能力								
			C-DP1-1	C-DP2-1	C-DP2-2	C-DP2-3	C-DP2-4	C-DP2-5	C-DP2-6	C-DP2-7	C-DP2-8	C-DP2-9
			幅広い教養を身につけている。	ビジネスの現場において必要不可欠とされる広範な知識や技能を修得している。	流通、およびマーケティングに関する深い知識や優れた技能を身につけている。	国際ビジネスに関する深い知識や優れた技能を身につけている。	会計に関する深い知識や優れた技能を身につけている。	金融に関する深い知識や優れた技能を身につけている。	情報通信技術に関する深い知識や優れた技能を身につけている。	ビジネスと情報との関わりに関する深い知識や優れた技能を身につけている。	修得した専門的な知識や技能を用いて、ビジネスの現場において自ら問題を発見し、それを解決することができる。	ビジネスの現場における問題解決に必要なコミュニケーション能力を身につけている。
応用商学Ⅳ （会計・金融） C332-842-14	新聞、雑誌、書籍、ウェブサイト等、一般に公表されている情報をもとにビジネスに関連する様々な事項を調査・分析し、それを発表する方法を学ぶ。	将来必要となるビジネスに関連する様々な事項を調査・分析し、それを発表する方法を身につけることを目標とする。		○				◎			◎	◎
応用商学Ⅴ （流通・マーケティング） C332-842-15	新聞、雑誌、書籍、ウェブサイト等、一般に公表されている情報をもとにビジネスに関連する様々な事項を調査・分析し、それを発表する方法を学ぶ。	将来必要となるビジネスに関連する様々な事項を調査・分析し、それを発表する方法を身につけることを目標とする。		○	◎						◎	◎
応用商学Ⅵ （流通・マーケティング） C332-842-16	新聞、雑誌、書籍、ウェブサイト等、一般に公表されている情報をもとにビジネスに関連する様々な事項を調査・分析し、それを発表する方法を学ぶ。	将来必要となるビジネスに関連する様々な事項を調査・分析し、それを発表する方法を身につけることを目標とする。		○	◎						◎	◎
応用商学Ⅶ （流通・マーケティング） C332-842-17	新聞、雑誌、書籍、ウェブサイト等、一般に公表されている情報をもとにビジネスに関連する様々な事項を調査・分析し、それを発表する方法を学ぶ。	将来必要となるビジネスに関連する様々な事項を調査・分析し、それを発表する方法を身につけることを目標とする。		○		◎					◎	◎
応用商学Ⅷ （ビジネス情報） C332-842-18	新聞、雑誌、書籍、ウェブサイト等、一般に公表されている情報をもとにビジネスに関連する様々な事項を調査・分析し、それを発表する方法を学ぶ。	将来必要となるビジネスに関連する様々な事項を調査・分析し、それを発表する方法を身につけることを目標とする。		○					◎		◎	◎
応用商学Ⅸ （流通・マーケティング） C332-842-19	新聞、雑誌、書籍、ウェブサイト等、一般に公表されている情報をもとにビジネスに関連する様々な事項を調査・分析し、それを発表する方法を学ぶ。	将来必要となるビジネスに関連する様々な事項を調査・分析し、それを発表する方法を身につけることを目標とする。		○	◎						◎	◎
応用商学Ⅹ （流通・マーケティング） C332-842-20	新聞、雑誌、書籍、ウェブサイト等、一般に公表されている情報をもとにビジネスに関連する様々な事項を調査・分析し、それを発表する方法を学ぶ。	将来必要となるビジネスに関連する様々な事項を調査・分析し、それを発表する方法を身につけることを目標とする。		○	◎						◎	◎
応用商学ⅩⅠ （会計・金融） C332-842-21	新聞、雑誌、書籍、ウェブサイト等、一般に公表されている情報をもとにビジネスに関連する様々な事項を調査・分析し、それを発表する方法を学ぶ。	将来必要となるビジネスに関連する様々な事項を調査・分析し、それを発表する方法を身につけることを目標とする。		○			◎				◎	◎
応用商学ⅩⅡ （会計・金融） C332-842-22	新聞、雑誌、書籍、ウェブサイト等、一般に公表されている情報をもとにビジネスに関連する様々な事項を調査・分析し、それを発表する方法を学ぶ。	将来必要となるビジネスに関連する様々な事項を調査・分析し、それを発表する方法を身につけることを目標とする。		○				◎			◎	◎

商学部商学科 カリキュラムマップ			商学部商学科のディプロマポリシー (DP)									
授業科目名 科目ナンバー	授業の概要	授業の到達目標	C-DP1	C-DP2								
			本学建学の精神である「行学一体」、 「報恩感謝」への深い理解、高い倫理観と豊かな人間性	ビジネスに関する専門的能力、およびビジネスの現場をはじめとする協働の場において様々な問題解決を図る能力								
			C-DP1-1	C-DP2-1	C-DP2-2	C-DP2-3	C-DP2-4	C-DP2-5	C-DP2-6	C-DP2-7	C-DP2-8	C-DP2-9
			幅広い教養を身につけている。	ビジネスの現場において必要不可欠とされる広範な知識や技能を修得している。	流通、およびマーケティングに関する深い知識や優れた技能を身につけている。	国際ビジネスに関する深い知識や優れた技能を身につけている。	会計に関する深い知識や優れた技能を身につけている。	金融に関する深い知識や優れた技能を身につけている。	情報通信技術に関する深い知識や優れた技能を身につけている。	ビジネスと情報との関わりに関する深い知識や優れた技能を身につけている。	修得した専門的な知識や技能を用いて、ビジネスの現場において自ら問題を発見し、それを解決することができる。	ビジネスの現場における問題解決に必要なコミュニケーション能力を身につけている。
応用商学Ⅲ (ビジネス情報) C332-842-23	新聞、雑誌、書籍、ウェブサイト等、一般に公表されている情報をもとにビジネスに関連する様々な事項を調査・分析し、それを発表する方法を学ぶ。	将来必要となるビジネスに関連する様々な事項を調査・分析し、それを発表する方法を身につけることを目標とする。		○						◎	◎	◎
応用商学Ⅳ (ビジネス情報) C332-842-24	新聞、雑誌、書籍、ウェブサイト等、一般に公表されている情報をもとにビジネスに関連する様々な事項を調査・分析し、それを発表する方法を学ぶ。	将来必要となるビジネスに関連する様々な事項を調査・分析し、それを発表する方法を身につけることを目標とする。		○					◎	◎	◎	◎
応用商学Ⅴ (各コース共通) C332-842-25	新聞、雑誌、書籍、ウェブサイト等、一般に公表されている情報をもとにビジネスに関連する様々な事項を調査・分析し、それを発表する方法を学ぶ。	将来必要となるビジネスに関連する様々な事項を調査・分析し、それを発表する方法を身につけることを目標とする。		◎							◎	◎
応用商学Ⅵ (各コース共通) C332-842-26	新聞、雑誌、書籍、ウェブサイト等、一般に公表されている情報をもとにビジネスに関連する様々な事項を調査・分析し、それを発表する方法を学ぶ。	将来必要となるビジネスに関連する様々な事項を調査・分析し、それを発表する方法を身につけることを目標とする。		◎							◎	◎
演習Ⅰ C232-842-01	演習テーマに関連する課題について文献・資料に基づき研究し、これを発表し、他の受講生と議論することにより、各自の卒業論文につながる研究を深める。	演習テーマに関連する課題について調査・分析し、それを発表する方法を身につけることを目標とする。 卒業論文の執筆の基礎力・応用力を身につけることを目標とする。	○	○	(いずれか1つ、または複数の項目について) ◎						◎	○
演習Ⅱ C332-842-02	演習テーマに関連する課題について文献・資料に基づき研究し、これを発表し、他の受講生と議論することにより、各自の卒業論文につながる研究を深める。	演習テーマに関連する課題について調査・分析し、それを発表する方法を身につけることを目標とする。 卒業論文の執筆の基礎力・応用力を身につけることを目標とする。	○	○	(いずれか1つ、または複数の項目について) ◎						◎	○
演習Ⅲ C432-842-03	演習テーマに関連する課題について文献・資料に基づき研究し、これを発表し、他の受講生と議論することにより、各自の卒業論文につながる研究を深める。	演習テーマに関連する課題について調査・分析し、それを発表する方法を身につけることを目標とする。 卒業論文の執筆の基礎力・応用力を身につけることを目標とする。	○	○	(いずれか1つ、または複数の項目について) ◎						◎	○

商学部商学科 カリキュラムマップ			商学部商学科のディプロマポリシー（DP）									
授業科目名 科目ナンバー	授業の概要	授業の到達目標	C-DP1	C-DP2								
			本学建学の精神である「行学一体」、 「報恩感謝」への深い理解、高い倫理観と豊かな人間性	ビジネスに関する専門的能力、およびビジネスの現場をはじめとする協働の場において様々な問題解決を図る能力								
			C-DP1-1	C-DP2-1	C-DP2-2	C-DP2-3	C-DP2-4	C-DP2-5	C-DP2-6	C-DP2-7	C-DP2-8	C-DP2-9
			幅広い教養を身につけている。	ビジネスの現場において必要不可欠とされる広範な知識や技能を修得している。	流通、およびマーケティングに関する深い知識や優れた技能を身につけている。	国際ビジネスに関する深い知識や優れた技能を身につけている。	会計に関する深い知識や優れた技能を身につけている。	金融に関する深い知識や優れた技能を身につけている。	情報通信技術に関する深い知識や優れた技能を身につけている。	ビジネスと情報との関わりに関する深い知識や優れた技能を身につけている。	修得した専門的な知識や技能を用いて、ビジネスの現場において自ら問題を発見し、それを解決することができる。	ビジネスの現場における問題解決に必要なコミュニケーション能力を身につけている。
卒業論文 C436-845-01	演習Ⅰ～Ⅲで身につけた能力に基づき、演習テーマに関連する課題に関連する各自の研究を深め、これを卒業論文として発表する。	卒業論文に関連する仮説を設定し、参考文献・データを適切に収集し、これらに基づき仮説を検証し、検証結果を論文として執筆することができる。	○	○	(いずれか1つ、または複数の項目について) ◎						◎	○
キャリア・デザインⅠ C131-861-01	大学4年間で有意義に過ごし、変化の著しい社会に自信をもって踏み出すことができるよう、自律的な自己成長につながる行動様式を学ぶ。自己分析や社会理解を進め、視野を広げながら、効果的目標を設定する力、行動計画を作成する力、行動を振り返る力を身につける。また、ディスカッションやグループワーク等をとおして、他者と協力する力を体験的に身につける。	大学生生活の充実のための目標を設定し、その実現のために行動できる。 自分の潜在的な可能性を見つけ出し、それを伸張するために行動できる。 自己理解を深め、他者に表現できる基礎的コミュニケーション力が身につく。 関心のある職業世界について情報を収集し、興味の幅を広げることができる。	○	◎							◎	◎
キャリア・デザインⅡ C231-861-02	この授業では自分自身の将来・進路を考えるうえで必要なステップを、講義・演習を踏まえて体験し、自分に何が必要なのか、今後何をすべきかを、明確にしていく。インターンシップや就職活動の実践についての情報提供や実際の採用試験内容を体験することで、最終的には自分の特徴・強みや、目標などを表現できるようになることをねらいとする。	・進路選択に向けて、これから何をすべきか、自分なりの行動計画を立案できる。 ・就職活動時にも必要となる自己表現（自分の強み、特徴、目標など）を、自信をもって行えるようになる。 ・3年生のインターンシップに備え、相手企業の選択や受け入れて貰った際に社会人として恥ずかしくない行動をとれる。	○	◎							◎	◎
キャリア・デザインⅢ C331-861-03	この授業は、就職活動を行う3年生を対象として、自らの希望する就職が実現するための知識・スキルを身につけることを目的とした授業を行う。具体的には就職に向けた自己分析・仕事研究などの情報提供や、自己紹介・面接・グループディスカッションなど就職試験に必要なスキルを実践的に体験することにより、希望する就職が実現する能力を身に付けることにつなげる。	就職活動の際に希望する就職を実現するために知識・スキルを活用することができる。	○	◎							◎	◎
産官民提携講座Ⅰ 税理士による租税講座 C231-861-01	税務の専門家である税理士から、税法、税制や会計について学び、税法と税理士の関わりや税理士業務の意義と役割について学ぶ。	税法、税制や会計の基本を理解し、租税に関する法や法理論の機能と課題等、税務の実際を知り、税理士業務の意義について説明できる。		◎							○	

商学部商学科 カリキュラムマップ			商学部商学科のディプロマポリシー（DP）									
授業科目名 科目ナンバー	授業の概要	授業の到達目標	C-DP1	C-DP2								
			本学建学の精神である「行学一体」、 「報恩感謝」への深い理解、高い倫理観と豊かな人間性	ビジネスに関する専門的能力、およびビジネスの現場をはじめとする協働の場において様々な問題解決を図る能力								
			C-DP1-1	C-DP2-1	C-DP2-2	C-DP2-3	C-DP2-4	C-DP2-5	C-DP2-6	C-DP2-7	C-DP2-8	C-DP2-9
			幅広い教養を身につけている。	ビジネスの現場において必要不可欠とされる広範な知識や技能を修得している。	流通、およびマーケティングに関する深い知識や優れた技能を身につけている。	国際ビジネスに関する深い知識や優れた技能を身につけている。	会計に関する深い知識や優れた技能を身につけている。	金融に関する深い知識や優れた技能を身につけている。	情報通信技術に関する深い知識や優れた技能を身につけている。	ビジネスと情報との関わりに関する深い知識や優れた技能を身につけている。	修得した専門的な知識や技能を用いて、ビジネスの現場において自ら問題を発見し、それを解決することができる。	ビジネスの現場における問題解決に必要なコミュニケーション能力を身につけている。
産官民提携講座Ⅱ C231-861-02	「自分事」としてSDGs（持続可能な開発目標）の推進に関わり、他者や社会を巻き込んで、SDGsの達成に貢献するために必要な知識を幅広く学ぶ。	(1)SDGsの基本（理念、歴史、現状、未来）を説明できる。 (2)身近なトピックに即してSDGsの重要性を説明できる。 (3)「自分事」としてSDGsを捉え、SDGsの達成に資する具体的な行動変容のあり方を提案、説明できる。		◎							○	
産官民提携講座Ⅲ C231-861-03	「サステナブル・スマート」を目指す名城公園キャンパスの構想から建築に関わった実務家、省CO ₂ の効果測定に携わる研究者を招聘し、キャンパスをフィールドとして理想と現実を行き来しながら実際に学ぶ。	まず地球温暖化と都市温暖化の実際を理解し、次いで省CO ₂ を実現する需要と供給両側面のエネルギー・マネジメントについて、工学的及び建築学的条件の最先端技術を学ぶことを目標とする。		◎							○	
産官民提携講座Ⅳ （地域連携学A） C231-861-04	社会問題の解決に貢献するソーシャルビジネスの創業・経営者を講師として招聘し、産官では対応できない問題に市民セクターがどのような取り組みをしているかを学ぶ。	第1に社会問題と解決策の最先端を学び生活者としての視野を広げ、第2に社会起業家との対話を通じて異文化コミュニケーション能力の向上を目指す。		◎							○	
産官民提携講座Ⅴ （課題解決型演習Ⅰ） C231-861-05	まちづくり、地域活性化等で課題を抱える連携先とともに、課題克服策を検討し、対策を実践するフィールドワーク型の演習である。	地域問題の診断力、解決策の立案力、実務家への提案力と協働を通じた変革推進を支えるプロジェクトマネジメント力等の修得を目標とする。		◎							◎	
産官民提携講座Ⅵ C231-861-06	仕事と職場のルールである「ワークルール」の理解を通じて、労働法・社会保険関連の知識を実例に即して身につけることを目的とする。また、社会保険労務士が取り扱う業務の実際や、社会人になるための基礎知識、職場で生き生きと働くためのノウハウを伝授する。	雇用・労働に係る社会的課題へのアプローチ方法を理解することを目標とする。社会保険労務士の業務内容・活躍のフィールドを学ぶことを通じ、企業・個人にとっての社会保障制度の意義を理解する。		◎							○	
インターンシップ C232-861-01	将来のキャリアに関連した職業体験を行う。	将来のキャリア設計をより具体的に描くことができる。	◎								○	○

◎・・・DP達成のために、特に重要な事項

○・・・DP達成のために、重要な事項

△・・・DP達成のために、望ましい事項